

令和4年度 第1回
恵庭市食育推進協議会

○日 時： 令和4年7月7日(木)14時30分～
○場 所： えにあす会議室8

次 第

1. 開会

2. 委員紹介

資料1

3. 正・副会長の選出

資料1

4. 議題

1)第3次恵庭市食育推進計画について

資料1

2)報告事項：令和3年度食育推進事業取組み実績及び
令和4年度食育推進事業計画について

資料2

3)情報提供：【農林水産省】デジタル食育ガイドブックについて

資料3

4)その他

5. 閉会

恵庭市食育推進協議会設置要綱

(設置)

第1条 食育基本法（平成17年法律第63号）に基づき、恵庭市における食育推進計画を策定するため及び総合的な食育の推進を図るため、恵庭市食育推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 恵庭市の食育推進計画の策定に関すること。
- (2) 食育の推進と評価に関すること。
- (3) 関係機関・関係団体等との連携に関すること。
- (4) その他、食育の推進のために必要と認められること。

(組織及び任期)

第3条 協議会の委員は20名以内とし、別表に掲げる者をもって組織する。

- 2 委員の任期は、2年とする。ただし再任を妨げない。
- 3 任期中に委員が交代するときは、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、会務を総括し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集し、会議の議長となる。

- 2 会議は、委員の半数以上の出席により開会する。
- 3 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の関係者の出席を求め、意見又は説明を聞くことができる。
- 4 会長は、必要があると認めるときは、ワーキング会議を開催することができる。

(事務局)

第6条 協議会の庶務は保健福祉部保健課において処理する。

(報酬等)

第7条 委員には、報酬及び旅費等は支給しない。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、会長が別に定める。

附則

この要綱は、平成24年6月1日から実施する。

附則

この要綱は、平成26年4月1日から実施する。

附則

この要綱は、平成28年4月1日から実施する。

附則

この要綱は、令和2年4月1日から実施する。

附則

この要綱は、令和4年4月1日から実施する。

別表（第3条関係）

関係機関・関係団体		地域・家庭	
1	北海道石狩振興局保健環境部 千歳地域保健室（千歳保健所）	1 1	特定非営利活動法人ワーカーズコープ 恵庭地域福祉事業所
		1 2	地域FM放送 e-niwa（いーにわ）
2	恵庭市農商工等連携推進ネットワーク	1 3	恵庭市老人クラブ連合会
3	恵庭消費者協会	市役所	
4	農業生産者	1 4	教育部教育総務課長
5	恵庭商工会議所	1 5	教育部社会教育課長
6	食品関連事業者	1 6	教育部学校給食センター長
		1 7	経済部農政課長
学識経験者		1 8	経済部商工労働課長
7	北海道文教大学人間科学部健康栄養学科	1 9	子ども未来部子ども家庭課長
教育関係		2 0	子ども未来部すみれ保育園栄養士
8	幼稚園・保育園・認定こども園		
9	恵庭市教頭会		
1 0	栄養教諭		

恵庭市食育推進協議会 委員名簿

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日

	No.	所 属	役 職	氏 名	読み仮名	新任/再任
関係機関・関係団体	1	北海道石狩振興局保健環境部 千歳地域保健室	企画総務課 主査	中川 真由美	ナカガワ マユミ	新
	2	恵庭市農工商等連携推進ネットワーク	幹事	島田 龍哉	シマダ タツヤ	再
	3	恵庭消費者協会	会長	戸花 小夜子	トハナ サヨコ	再
	4	農業生産者 (ルーキーズカンパニー)	会長	田中 亮太	タナカ リョウタ	新
	5	恵庭商工会議所	経営支援課 主査	今野 健介	コンノ ケンスケ	新
	6	食品関連事業者 (恵庭農畜産物直売所かのな)	店長	新保 孝	シンボ タカシ	新
経学識 験者	7	北海道文教大学人間科学部健康栄養学科	教授	服部 富子	ハツトリ トミコ	再
教育関係	8	学校法人リズム学園恵庭幼稚園	栄養士	中本 七星	ナカモト ナナセ	新
	9	恵庭市教頭会	恵庭中学校 教頭	赤井 輝人	アカイ テルヒト	新
	10	恵庭市立若草小学校	栄養教諭	山崎 久美子	ヤマザキ クミコ	再
地域・家庭	11	特定非営利活動法人ワーカーズコープ 恵庭地域福祉事業所	恵庭市ファミリー・サポート・ センター 責任者	根深 まなみ	ネブカ マナミ	再
	12	地域FM放送e-niwa (いーにわ)	営業・制作チーフ	滝沢 貴之	タキザワ タカユキ	再
	13	恵庭市老人クラブ連合会	副会長・女性部会長	亀石 和代	カメイシ カズヨ	再
市役所	14	教育委員会	教育総務課長	早川 剛志	ハヤカワ ツヨシ	再
	15		社会教育課長	黒氏 優子	クロウジ ユウコ	新
	16		学校給食センター長	加藤 孝行	カトウ コウコウ	再
	17	経済部	農政課長	山下 主税	ヤマシタ チカラ	再
	18		商工労働課長	藤井 昌人	フジイ マサヒト	再
	19	子ども未来部	子ども家庭課長	狩野 志帆	カリノ シホ	新
	20		すみれ保育園栄養士	藤田 郁子	フジタ イクコ	再

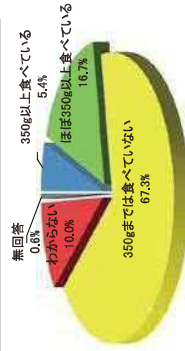
市民の食に関する状況は

恵庭市の食をめぐる現状

①体や健康のことを考えて食事をしている人



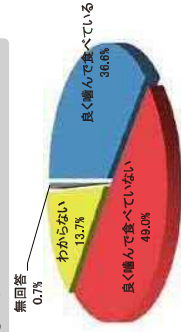
②1日350g以上の野菜を摂取している人



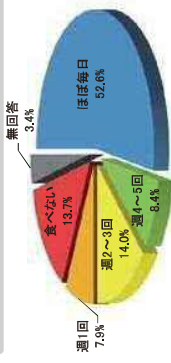
③栄養バランスに配慮した食生活を実践している人



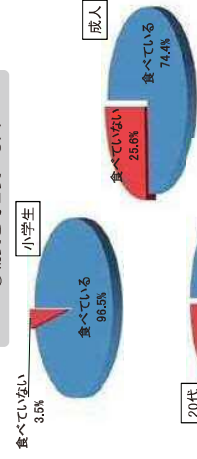
④食事を味わってよく噛んで食べる人



⑤朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数



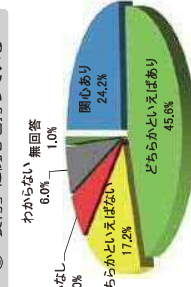
⑥朝食を毎日食べる人



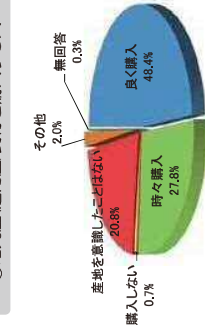
⑦早く寝る小学生（10時まで）



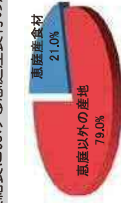
⑧「食育」に関心を持っている人



⑨地元産(道内産)食材を購入する人



⑩学校給食における恵庭産食材の活用



第3次恵庭市食育推進計画 概要版

計画期間 平成30年度から平成35年度まで

恵庭市では、平成19年度から恵庭市食育推進計画により食育を推進してきました。平成35年度までの6年間で、市民一人ひとりがいつまでも健康で豊かな暮らしを目指し、食育を通じ恵庭の人や活動が互いにつながり食育活動を推し進めるため第3次恵庭市食育推進計画を策定しました。

基本方針

食をとおとして、生涯にわたる健やかな暮らしの実現をめざす

●食育を推進するための3つの領域と目標

<目 標>

<計画策定時>

<目標値>

領域	目標	計画策定時	目標値
領域 1 食をとおとして健康をつくる	①体や健康のことを考えて食事をしている人を増やす	中学生 75 % 成人 76 %	90% 現状維持
	②1日350g以上の野菜を摂取している人を増やす	成人 22 %	40%
	③栄養バランスに配慮した食生活を実践する人を増やす	成人 37 % 20代男女 26 %	70% 55%
	④食事を味わってよく噛んで食べる人を増やす	成人 37 %	55%
領域 2 食をとおとして人を育む	⑤朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす	週 7.8 回以上	週11回以上
	⑥朝食を毎日食べる人を増やす	小学生 97 % 中学生 89 % 成人 74 %	100% 100% 85%
	⑦早く寝る小学生を増やす(21時台までの就寝)	20代男女 49 % 小学生 55 %	85% 70%
	⑧「食育」に関心を持っている人を増やす	成人 70 %	90%
領域 3 食をとおとして地域をつくる	⑨地元産(道内産)食材を購入する人を増やす	成人 76 %	95%
	⑩学校給食における恵庭産食材の活用を増やす	21 %	30%

● 領域別の対策

第3次
食育推進基本計画
重点課題（国）

領域

対
個人・地域の取り組み

策
関係団体・市の取り組み

事業名

概要

担当・関係団体

* 食育推進に係る事業の一部を掲載しております。（全文は第3次恵庭市食育推進計画の第5章「食育の推進」に掲載）

健康寿命の延伸に
つながる
食育の推進

1. 食をとおして
健康をつくる

・日頃から望ましい食生活を意識しよう
・減塩や栄養バランスの良い食事での生活習慣病を予防しよう
・ゆっくりよりよく噛んで食べよう

・妊産婦や乳幼児に対する基本的な食習慣形成のための栄養指導
・生活習慣病予防による健康寿命の延伸につながる食生活実践の推進
・高齢者に対する低栄養の予防等の栄養指導
・8020やカミング30等の歯科保健活動における食育推進

妊婦教室 (マタニティクラス)	妊娠中の栄養バランスや必要栄養素への理解促進を図る。（年4回）	保健福祉部 保健課
育児教室	離乳食の進め方や歯の手入れ等について学ぶ機会の提供。（年6回）	保健福祉部 保健課
特定保健指導 保健指導	特定健康診査（保健指導）の支援対象者に対し、個別または集団の支援を通じた生活習慣の改善。	保健福祉部保健課 健康スポーツ課
道民の健康づくり 推進事業	どさんこ食事バランスガイドの普及、ヘルシーレストラン事業の推進、生活習慣病予防のための保健教育。	北海道石狩振興局 保健環境部 千歳地域保健室
訪問型 栄養・口腔指導	65歳以上の方を対象に健康維持や介護予防のための栄養改善や口腔機能についての訪問指導。	保健福祉部 保健課
歯科健診 フッ素塗布	1歳6か月児、3歳児健診における個別の健診・歯科指導など。	保健福祉部 保健課

多様な暮らしに
対応した
食育の推進

2. 食をとおして
人を育む

・家族で食卓を囲み共に食事を取ろう
・地域の中で食を通じたコミュニケーションを図ろう
・朝食を食べ健康的な生活リズムを身につけよう

・若者や高齢者へのコミュニケーションを通じた共食の推進
・子どもの基本的な生活習慣形成の支援
・多様な暮らしを意識した栄養指導の推進
・若い世代に対する食に関する知識の普及啓蒙の推進

料理ゼミ	幼稚園での食を通して地域と関わり食への関心を高めることを目的に地域の方を講師に招き調理を実施。（年20回）	幼稚園
食の指導 給食指導	健康の保持増進のための食習慣の理解や給食美満日に全学年に対しマナーや献立を通じた食育。	小学校、中学校
料理教室	高齢者でも簡単に調理できる食材で調理、会員同士の交流を図る。	恵庭市 老人クラブ連合会
乳幼児の栄養相談	乳幼児健診、すくすく相談などにおける個別の食事・栄養の指導。	保健福祉部 保健課
給食体験 布着が作る 「おもてなしランチ」	健康栄養学科オープンキャンパス参加の高校生と保護者に給食を提供。メニューやリーフレットの配布。（年3回）	北海道文教大学
食の体験	いちご狩りや調理実習など。	子育てサークル わんぱく連合会

食文化の継承に
向けた
食育の推進

3. 食をとおして
地域をつくる

・自分の食生活を振り返ろう
・地元産の食材を積極的に利用しよう
・食べられる量だけ作ったり、注文したりしよう
・残さず食べよう

・食育に関する理解の推進
・地域の食文化を大切にしたい食育の推進
・地産地消の推進
・食べきりおまかせ食を大切にすることを意識の啓蒙

食育講演会	食育の普及啓蒙。（年1回）	保健福祉部 保健課
季節や文化を通じた 食育活動	保育園給食での食を通し季節感や伝統的な食文化を伝える。	子ども未来部 子育て支援課
えにわ大好き！ 食の体験ランド	調理体験、収穫体験、ワークショップなど。	教育部 社会教育課
恵庭市消費生活展	食に関する知識や情報を市民に伝えるの関心を高める。地場産野菜を活用したレシピ配布、試飲、試食。（年1回）	恵庭消費者協会
ルーキーズカンパニーへの 食育活動支援	えにわ大好き！食の体験ランドへの参加による青年農業者の企画力の養成	石狩農業改良 普及センター
えにわめぐみの スイーツフェスティバル	企業、団体による出展・販売及び地域資源を活用した商品・取り組みのPR	経済部商工労働課 恵庭市農商工等連携 推進ネットワーク
アグリネット事業	恵庭産食材を使用した特産品開発、試食。（年1回）	恵庭商工会議所
	農業に触れ、食の大切さを学ぶ体験学習。（市内在住で小学生を含む家族）	経済部農政課

資料 2

令和4年度 第1回 恵庭市食育推進協議会

1) 令和3年度食育推進事業取組み実績及び令和4年度食育推進事業計画について

	ページ
■ 関係機関・関係団体	
▶北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室（千歳保健所）	1
▶恵庭市農商工等連携推進ネットワーク、経済部商工労働課	2
▶恵庭消費者協会	3
▶恵庭商工会議所	4
■ 教育関係	
▶北海道文教大学	5
▶恵庭幼稚園	7
▶恵庭市立恵庭中学校	9
■ 地域・家庭	
▶特定非営利活動法人ワーカーズコープ 恵庭地域福祉事業所	11
▶地域FM放送e-niwa（いーにわ）	13
▶恵庭市老人クラブ連合会	14
■ 行政	
▶教育部社会教育課	15
▶教育部学校給食センター	16
▶子ども未来部子ども家庭課	18
▶子ども未来部すみれ保育園	19
▶保健福祉部保健課	22

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

北海道千歳保健所

事業名	令和3年度取組み状況	令和4年度計画・内容																																											
<p>1、道民の健康づくり推進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">領域</th> <th colspan="4">1 食をとおして健康をつくる</th> <th colspan="3">2 食をとおして人と育む</th> <th colspan="3">3 食をとおして地域をつくる</th> </tr> <tr> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th> <th>5</th><th>6</th><th>7</th> <th>8</th><th>9</th><th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #92d050;"> <td>目標</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	領域	1 食をとおして健康をつくる				2 食をとおして人と育む			3 食をとおして地域をつくる			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	目標											令和3年度	○	○	○		○	○	○	○	○		<p>■目的 食育の普及啓発</p> <p>■内容 ①どさんこ食事バランスガイドの普及（パンフレットの配布） ②食生活改善普及月間の普及啓発（ポスターの配布）</p> <p>■時期 ①随時 ② 9月</p> <p>■対象 管内地域住民等</p> <p>■回数・人数 ①回数：随時配布 ② 回数：1回、人数：管内各3市</p> <p>■協働機関 管内各市</p>	<p>・令和3年度と同様の取組を行う。</p>
領域		1 食をとおして健康をつくる				2 食をとおして人と育む			3 食をとおして地域をつくる																																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																			
目標																																													
令和3年度	○	○	○		○	○	○	○	○																																				
<p>2、食育教材の貸出</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">領域</th> <th colspan="4">1 食をとおして健康をつくる</th> <th colspan="3">2 食をとおして人と育む</th> <th colspan="3">3 食をとおして地域をつくる</th> </tr> <tr> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th> <th>5</th><th>6</th><th>7</th> <th>8</th><th>9</th><th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #92d050;"> <td>目標</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td> <td>○</td><td>○</td><td></td> <td>○</td><td>○</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	領域	1 食をとおして健康をつくる				2 食をとおして人と育む			3 食をとおして地域をつくる			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	目標											令和3年度	○	○	○		○	○		○	○		<p>■目的 給食施設の適切な栄養管理実施の支援 給食施設利用者の健康増進を図り、QOL向上を目指す。</p> <p>■内容 学習媒体の貸出により食教育を行い、喫食者本人やその家族の健康づくりを支援する。</p> <p>■時期 随時</p> <p>■対象 学校（幼稚園）、保育所、福祉施設等</p> <p>■回数・人数 なし</p> <p>■協働機関 管内各市</p>	<p>・貸し出し媒体のPRを積極的に行う。</p>
領域		1 食をとおして健康をつくる				2 食をとおして人と育む			3 食をとおして地域をつくる																																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																			
目標																																													
令和3年度	○	○	○		○	○		○	○																																				
<p>3、食環境整備事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">領域</th> <th colspan="4">1 食をとおして健康をつくる</th> <th colspan="3">2 食をとおして人と育む</th> <th colspan="3">3 食をとおして地域をつくる</th> </tr> <tr> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th> <th>5</th><th>6</th><th>7</th> <th>8</th><th>9</th><th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #92d050;"> <td>目標</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td> <td>○</td><td>○</td><td></td> <td>○</td><td>○</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	領域	1 食をとおして健康をつくる				2 食をとおして人と育む			3 食をとおして地域をつくる			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	目標											令和3年度	○	○	○		○	○		○	○		<p>■目的 食生活環境整備事業 食品選択や外食摂取において、健康管理上の適切な選択を支援する。</p> <p>■内容 ①ほっかいどうヘルスサポートレストラン事業の推進 ②食品表示法による栄養成分表示の推進</p> <p>■時期 随時</p> <p>■対象 管内飲食店</p> <p>■回数・人数 ①登録件数 54件（二つ星店 1件（塩分控えめ・脂質控えめ）） ②食品表示法に係る個別相談（8件）</p> <p>■協働機関 登録飲食店等</p>	<p>ほっかいどうヘルスサポートレストラン推進事業について、事業の推進のため、事業周知や新事業の登録推進に取り組む。 ・登録要件が店内禁煙のため、登録推進と併せて喫煙器具・設備等の設置に関する指導監督を行い、受動喫煙防止を図る。</p>
領域		1 食をとおして健康をつくる				2 食をとおして人と育む			3 食をとおして地域をつくる																																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																			
目標																																													
令和3年度	○	○	○		○	○		○	○																																				

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

恵庭市農商工等連携推進ネットワーク
経済部商工労働課

事業名				令和3年度取組み状況				令和4年度計画・内容																			
1 農商工連携による商品開発事業				<p>■目的 地域資源を活用した新製品を開発・販売することを通して、地域内企業による地元産農産物の活用と市民による資源と取り組みの理解を促し、地場消費の拡大を図る。</p> <p>■内容 恵庭市内農商工連携においては一次産品等の原材料情報の提供、友好都市・藤枝市との連携商品については「恵庭市・藤枝市連携商品開発事業補助」の活用により1事業者が新商品を開発し販売された。また、恵庭市内の農業者や飲食事業者、市内食品関連企業とが連携し、16製品が企画、開発、販売された。</p> <p>■時期 令和3年4月～令和4年3月</p> <p>■対象 市民、石狩管内の住民</p> <p>■回数・人数 道と川の駅花ロード・えにわ、その他市内外イベントでの販売</p> <p>■協働機関 市内外食品関連企業、販売者</p>				<p>■開発製品の継続販売支援</p> <p>■新たな製品の企画開発商品</p>																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> <tr> <td></td> <td>食をとおして健康をつくる</td> <td>食をとおして人と育む</td> <td>食をとおして地域をつくる</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>				領域	1	2	3		食をとおして健康をつくる	食をとおして人と育む	食をとおして地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度			○								
領域	1	2	3																								
	食をとおして健康をつくる	食をとおして人と育む	食をとおして地域をつくる																								
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩																								
令和3年度			○																								
2 恵庭市農商工等連携推進ネットワーク事業				<p>■目的 農商工連携を推進し、地域資源を活用した特産品開発等をもって地域経済の活性化を図る。</p> <p>■内容 恵庭市農商工等連携推進ネットワーク事業として情報発信や商談会等の出展支援、商品開発推進等を実施。</p> <p>■時期 令和3年4月～令和4年3月</p> <p>■対象 同ネットワーク会員（107企業・団体等）</p> <p>■回数・人数 商談会への出展支援（1事業者）、情報発信33回、開発商品18品</p> <p>■協働機関 恵庭市農商工等連携推進ネットワーク</p>				<p>■会員商品のウェブサイトやパンフレット配布などによる情報発信</p> <p>■新商品の企画開発支援</p> <p>■友好都市である藤枝市との連携による商品開発の推進</p>																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> <tr> <td></td> <td>食をとおして健康をつくる</td> <td>食をとおして人と育む</td> <td>食をとおして地域をつくる</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td></td> <td></td> <td>○ ○</td> </tr> </tbody> </table>				領域	1	2	3		食をとおして健康をつくる	食をとおして人と育む	食をとおして地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度			○ ○								
領域	1	2	3																								
	食をとおして健康をつくる	食をとおして人と育む	食をとおして地域をつくる																								
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩																								
令和3年度			○ ○																								
3、				<p>■目的 質の高い農畜産物や食品加工製造関連の企業の製品など優れた素材を使用し、農商工連携の取組みによって開発された加工品の展示・販売を通じ、恵庭の地域資源の豊かさを市内外にPRする。</p> <p>■内容 えにわん産業祭（コロナにより中止）</p> <p>■時期</p> <p>■対象</p> <p>■回数・人数</p>				<p>■新型コロナウイルスの影響により中止</p>																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> <tr> <td></td> <td>食をとおして健康をつくる</td> <td>食をとおして人と育む</td> <td>食をとおして地域をつくる</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td></td> <td></td> <td>○ ○</td> </tr> </tbody> </table>				領域	1	2	3		食をとおして健康をつくる	食をとおして人と育む	食をとおして地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度			○ ○								
領域	1	2	3																								
	食をとおして健康をつくる	食をとおして人と育む	食をとおして地域をつくる																								
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩																								
令和3年度			○ ○																								

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

恵庭消費者協会

事業名	令和3年度取組み状況	令和4年度計画・内容												
<p>1 お米料理と講話</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">領域</th> <th style="width: 25%;">1 食をとおして健康をつくる</th> <th style="width: 25%;">2 食をとおして人と育む</th> <th style="width: 25%;">3 食をとおして地域をつくる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #90ee90;"> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○ ○ ○</td> <td></td> <td>○ ○</td> </tr> </tbody> </table>	領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度	○ ○ ○		○ ○	<p>■目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お米の消費拡大と料理の知識を深める。 ・ お米の正しい知識を学ぶ。 <p>■内容</p> <p>北海道文教大学の先生を講師に招き、お米の料理講習会と講話。</p> <p>■時期</p> <p>11月3日(水)</p> <p>■対象</p> <p>会員・一般</p> <p>■回数・人数</p> <p>料理講習会 9人 講話 27人</p> <p>■協働機関</p> <p>北海道米販売拡大委員会</p>	<p>コロナ感染の状況を見ながら、実施の方向で秋を予定しています。</p>
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる											
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩											
令和3年度	○ ○ ○		○ ○											
<p>2 味噌づくり</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">領域</th> <th style="width: 25%;">1 食をとおして健康をつくる</th> <th style="width: 25%;">2 食をとおして人と育む</th> <th style="width: 25%;">3 食をとおして地域をつくる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #90ee90;"> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td> <td></td> <td>○ ○</td> </tr> </tbody> </table>	領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度	○		○ ○	<p>■目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地産地消の普及啓発。 ・ 味噌の効能を理解する。 <p>■内容</p> <p>恵庭産大豆を使った味噌づくり</p> <p>■時期</p> <p>2月3日(木)</p> <p>■対象</p> <p>会員</p> <p>■回数・人数</p> <p>10人</p> <p>■協働機関</p>	<p>昨年同様の時期で一般の方の参加も考えています。</p>
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる											
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩											
令和3年度	○		○ ○											

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

恵庭商工会議所

事業名	令和3年度取組み状況	令和4年度計画・内容												
<p>1、 恵庭産えびすかぼちゃ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">領域</th> <th style="width: 25%;">1 食をとおして 健康をつくる</th> <th style="width: 25%;">2 食をとおして 人と育む</th> <th style="width: 25%;">3 食をとおして 地域をつくる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #90ee90;"> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td></td> <td></td> <td>○ ○ ○</td> </tr> </tbody> </table>	領域	1 食をとおして 健康をつくる	2 食をとおして 人と育む	3 食をとおして 地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度			○ ○ ○	<p>■ 目的 地産地消の啓蒙のため実施</p> <p>■ 内容 恵庭産えびすかぼちゃの冷凍ペーストを給食の食材として提供</p> <p>■ 時期 通年</p> <p>■ 対象 市内小中学校、幼稚園、保育園</p> <p>■ 回数・人数 幼稚園・保育園については月1回程度</p> <p>■ 協働機関</p>	
領域	1 食をとおして 健康をつくる	2 食をとおして 人と育む	3 食をとおして 地域をつくる											
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩											
令和3年度			○ ○ ○											

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

北海道文教大学

事業名		令和3年度取組み状況		令和4年度計画・内容																																																										
1、食育教室		<p>■目的 地域の高等教育機関として、子どもやその保護者が作る楽しさを共に体験し、食を通じた子どもの健全育成をねらいとしている。 “食事作りや準備に関わる” “食事を味わって食べる” “一緒に食べたい人がいる” を目標に国が示している「楽しく食べる子ども」を目指す。</p> <p>■内容 新型コロナウイルス感染症流行の影響により予定していた対面での「食育教室」は2回中止となった。第1回の「えにわ大好き！食の体験ランド！」はオンライン開催し、調理実習、動画配信、食育クイズを行った。第2回、第3回は対面で実施した。 また、リズム学園の放課後スクールONE STEPの学童保育に通う恵庭市内の小学生を対象に「ミニ食育教室」を行った（計3回）。学内の食育ボランティア愛好会の協力を得て開催した。 実施内容のパネルを作成、実施レシピと共に食育の普及・啓発に活用した。（オープンキャンパス展示、大学祭展示、恵庭市食育推進展示等に活用）</p> <p>■「食育教室」時期・対象・人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">回数</th> <th rowspan="2">月/日</th> <th rowspan="2">対象</th> <th colspan="2">人数</th> <th rowspan="2">ボラン ティア</th> </tr> <tr> <th>子</th> <th>親</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/23</td> <td>小学生4・5・6年生と保護者</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>11/21</td> <td>小学生1・2・3年生と保護者</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>12/19</td> <td>小学生4・5・6年生</td> <td>18</td> <td></td> <td>14</td> </tr> <tr> <td colspan="3">総計</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>■「ミニ食育教室」時期・対象・人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>月/日</th> <th>対象</th> <th>人数</th> <th>ボラン ティア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/27</td> <td>学童保育に通う恵庭市内の小学生</td> <td>23</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>11/24</td> <td>学童保育に通う恵庭市内の小学生</td> <td>21</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>12/22</td> <td>学童保育に通う恵庭市内の小学生</td> <td>25</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td colspan="3">総計</td> <td>69</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>■協働機関 恵庭市・恵庭市教育委員会、ルーキーズカンパニー 放課後スクールONE STEP</p>		回数	月/日	対象	人数		ボラン ティア	子	親	1	10/23	小学生4・5・6年生と保護者	6	6	7	2	11/21	小学生1・2・3年生と保護者	17	17	10	3	12/19	小学生4・5・6年生	18		14	総計			6	6	7	回数	月/日	対象	人数	ボラン ティア	1	10/27	学童保育に通う恵庭市内の小学生	23	9	2	11/24	学童保育に通う恵庭市内の小学生	21	5	3	12/22	学童保育に通う恵庭市内の小学生	25	6	総計			69	20	<p>食育教室は年5回、ミニ食育教室は年10回、対面での実施を予定している。 今後状況により、リモートでの食育教室を実施予定。</p>	
回数	月/日	対象	人数				ボラン ティア																																																							
			子	親																																																										
1	10/23	小学生4・5・6年生と保護者	6	6	7																																																									
2	11/21	小学生1・2・3年生と保護者	17	17	10																																																									
3	12/19	小学生4・5・6年生	18		14																																																									
総計			6	6	7																																																									
回数	月/日	対象	人数	ボラン ティア																																																										
1	10/27	学童保育に通う恵庭市内の小学生	23	9																																																										
2	11/24	学童保育に通う恵庭市内の小学生	21	5																																																										
3	12/22	学童保育に通う恵庭市内の小学生	25	6																																																										
総計			69	20																																																										
領域	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> <tr> <th>食をとおして健康をつくる</th> <th>食をとおして人と育む</th> <th>食をとおして地域をつくる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>○ ○ ○ ○</td> <td>○ ○ ○ ○</td> <td>○ ○ ○ ○</td> </tr> </tbody> </table>	1	2	3	食をとおして健康をつくる	食をとおして人と育む	食をとおして地域をつくる	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	<p>令和3年度</p>																																																
1	2	3																																																												
食をとおして健康をつくる	食をとおして人と育む	食をとおして地域をつくる																																																												
①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩																																																												
○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○																																																												

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

北海道文教大学

事業名		令和3年度取組み状況		令和4年度計画・内容																			
<p>2、食育教材の制作と活用及び提供</p> <table border="1"> <tr> <td>領域</td> <td>1 食をとおして健康をつくる</td> <td>2 食をとおして人と育む</td> <td>3 食をとおして地域をつくる</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる			目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩			令和3年度	○	○	○			<p>■目的 道民への栄養・食生活に関する普及・啓発</p> <p>■内容 健康栄養学科3年生が栄養教育論実習で道民を対象とする栄養・食生活に関する教材の作成（卓上POP）を行い、道へ提出した。教材は、道から企業・団体へと情報発信された。</p> <p>■時期 1月</p> <p>■対象 道民</p> <p>■協働機関 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課</p>		<p>昨年同様、提出予定。</p>	
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる																				
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩																				
令和3年度	○	○	○																				
<p>3、北海道文教大学 公開講座</p> <table border="1"> <tr> <td>領域</td> <td>1 食をとおして健康をつくる</td> <td>2 食をとおして人と育む</td> <td>3 食をとおして地域をつくる</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる			目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩			令和3年度	○		○			<p>■目的 食物アレルギーをもつ子供の保護者に対して、知識の普及</p> <p>■内容 「こどもの食物アレルギー～進化してます、対応食・メニュー～」をテーマに、食物アレルギーの基礎知識、現在の治療法や対応メニュー等の情報を提供した。</p> <p>■時期 12月</p> <p>■対象 食物アレルギーをもつ子供の保護者</p> <p>■回数・人数 1回・10人</p> <p>■協働機関 コープさっぽろ、辻安全食品</p>		<p>予定なし。</p>	
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる																				
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩																				
令和3年度	○		○																				
<p>4、道文教大のしあわせレシピ</p> <table border="1"> <tr> <td>領域</td> <td>1 食をとおして健康をつくる</td> <td>2 食をとおして人と育む</td> <td>3 食をとおして地域をつくる</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる			目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩			令和3年度	○	○	○			<p>■目的 地域や食品企業との連携事業を通じて、健康・環境・食資源に関する情報を伝え、広い視点から食への関心を高める。</p> <p>■内容 生活情報紙「ちやんと」に月1回料理レシピを掲載。「包括連携協定企業の商品活用編」「SDGsの達成編」「食品副産物の利活用」「食育教室編」など、本学の授業および学科事業で活用した料理レシピを掲載。</p> <p>■時期 通年</p> <p>■対象 一般市民</p> <p>■回数・人数 11回</p> <p>■協働機関 株式会社 メディアコム</p>		<p>■前年度と同様に実施予定</p>	
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる																				
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩																				
令和3年度	○	○	○																				

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

恵庭幼稚園

事業名	令和3年度取組み状況	令和4年度計画・内容																
<p>1 幼稚園給食</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">領域</th> <th style="width: 10%;">1</th> <th style="width: 10%;">2</th> <th style="width: 10%;">3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">食をとおして 健康をつくる</td> <td style="text-align: center;">食をとおして 人と育む</td> <td style="text-align: center;">食をとおして 地域をつくる</td> </tr> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">①②③④</td> <td style="text-align: center;">⑤⑥⑦</td> <td style="text-align: center;">⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>	領域	1	2	3		食をとおして 健康をつくる	食をとおして 人と育む	食をとおして 地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度	○	○	○	<p>■目的 日本文化である和食に幼少期から触れるとともに、幼児およびその保護者に食に対する関心を高め、食の大切さを学ぶ</p> <p>■内容 和食を中心にしたメニューによる幼稚園給食</p> <p>■時期 通年</p> <p>■対象 幼児</p> <p>■回数・人数 年間約100食、約200名</p> <p>■協働機関 島田農園、株式会社アイコーメディカル</p>	<p>■前年度と同様に実施予定</p> <p>■内容 ・和食の意味や意義なども食育の中で触れていく</p> <p>・地元恵庭市で作られた米やパンを食することで、より食への関心を高める</p>
領域	1	2	3															
	食をとおして 健康をつくる	食をとおして 人と育む	食をとおして 地域をつくる															
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩															
令和3年度	○	○	○															
<p>2 畑の活動</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">領域</th> <th style="width: 10%;">1</th> <th style="width: 10%;">2</th> <th style="width: 10%;">3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">食をとおして 健康をつくる</td> <td style="text-align: center;">食をとおして 人と育む</td> <td style="text-align: center;">食をとおして 地域をつくる</td> </tr> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">①②③④</td> <td style="text-align: center;">⑤⑥⑦</td> <td style="text-align: center;">⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>	領域	1	2	3		食をとおして 健康をつくる	食をとおして 人と育む	食をとおして 地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度	○	○	○	<p>■目的 身近にある食を園生活に取り入れることにより、食と生活を結びつけ将来にわたって食に関心をもち、関わる心を育む</p> <p>■内容 畑、水田、調理</p> <p>■時期 通年</p> <p>■対象 幼児</p> <p>■回数・人数 約200名</p> <p>■協働機関 島田農園</p>	<p>■前年度と同様に実施予定</p> <p>■内容 ・野菜作り、米作りを身近で体験することにより、生産者への感謝の気持ちを持つ</p> <p>・保存食を積極的に作ることで、より生活に密着させた活動を展開する</p>
領域	1	2	3															
	食をとおして 健康をつくる	食をとおして 人と育む	食をとおして 地域をつくる															
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩															
令和3年度	○	○	○															
<p>3 家畜の飼育</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">領域</th> <th style="width: 10%;">1</th> <th style="width: 10%;">2</th> <th style="width: 10%;">3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">食をとおして 健康をつくる</td> <td style="text-align: center;">食をとおして 人と育む</td> <td style="text-align: center;">食をとおして 地域をつくる</td> </tr> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">①②③④</td> <td style="text-align: center;">⑤⑥⑦</td> <td style="text-align: center;">⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和3年度</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>	領域	1	2	3		食をとおして 健康をつくる	食をとおして 人と育む	食をとおして 地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度	○	○	○	<p>■目的 動物を飼育し、その肉を食することで命の大切さを学ぶと共に命と食の関係についても学びを深める</p> <p>■内容 豚の飼育（食肉）</p> <p>■時期 9月～11月</p> <p>■対象 幼児</p> <p>■回数・人数 約200名</p> <p>■協働機関 JA道央</p>	<p>■前年度と同様に実施予定</p> <p>■内容 ・命と食の関係についての学びを深める</p> <p>・食物への感謝の気持ちを育む</p>
領域	1	2	3															
	食をとおして 健康をつくる	食をとおして 人と育む	食をとおして 地域をつくる															
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩															
令和3年度	○	○	○															

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

恵庭幼稚園

事業名	令和3年度取組み状況	令和4年度計画・内容												
<p>4 給食ができるまで</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">領域</th> <th style="width: 10%;">1 食をとおして健康をつくる</th> <th style="width: 10%;">2 食をとおして人と育む</th> <th style="width: 10%;">3 食をとおして地域をつくる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #90ee90;"> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td></td> <td>○</td> <td>○ ○</td> </tr> </tbody> </table>	領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度		○	○ ○	<p>■目的 給食に関わっている人々や食材について知り、給食（食事）に対する感謝の気持ちや大切に食べようとする心を育む</p> <p>■内容 給食ができるまで</p> <p>■時期 6月・7月</p> <p>■対象 幼児</p> <p>■回数・人数 2回・116名</p> <p>■協働機関</p>	<p>■前年度と同様に実施予定</p> <p>■内容 ・調理員が調理しているところを撮影したり、実際に見に行き、音や匂いを感じながら給食ができるまでを五感で感じることで理解を深める</p>
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる											
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩											
令和3年度		○	○ ○											
<p>5 食事のマナー</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">領域</th> <th style="width: 10%;">1 食をとおして健康をつくる</th> <th style="width: 10%;">2 食をとおして人と育む</th> <th style="width: 10%;">3 食をとおして地域をつくる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #90ee90;"> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td></td> <td>○</td> <td>○ ○</td> </tr> </tbody> </table>	領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度		○	○ ○	<p>■目的 食事という同じ時間と環境を共有するもの同士が気持ちよく過ごすためにはどうしたら良いのかを考える</p> <p>■内容 食事のマナー</p> <p>■時期 4月・5月・12月</p> <p>■対象 幼児</p> <p>■回数・人数 2回・174名</p> <p>■協働機関</p>	<p>■前年度と同様に実施予定</p> <p>■内容 ・4月の様子と12月の様子を撮影し、振り返りの機会を作る</p>
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる											
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩											
令和3年度		○	○ ○											
<p>6 三色食品群を知ろう</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">領域</th> <th style="width: 10%;">1 食をとおして健康をつくる</th> <th style="width: 10%;">2 食をとおして人と育む</th> <th style="width: 10%;">3 食をとおして地域をつくる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #90ee90;"> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○ ○ ○</td> <td></td> <td>○ ○ ○</td> </tr> </tbody> </table>	領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度	○ ○ ○		○ ○ ○	<p>■目的 バランスの良い食事を自ら選択できるよう、食品の分類や食べ物と身体の関係について考える</p> <p>■内容 三色食品群を知ろう</p> <p>■時期 9月</p> <p>■対象 幼児</p> <p>■回数・人数 1回・58名</p> <p>■協働機関</p>	<p>■前年度と同様に実施予定</p> <p>■内容 ・毎日の給食の食材を三色に分類する</p>
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる											
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩											
令和3年度	○ ○ ○		○ ○ ○											

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

恵庭市立恵庭中学校

事業名	令和3年度取組み状況	令和4年度計画・内容												
<p>1、 食の指導</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">領域</th> <th style="width: 10%;">1 食をとおして健康をつくる</th> <th style="width: 10%;">2 食をとおして人と育む</th> <th style="width: 10%;">3 食をとおして地域をつくる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○ ○</td> <td>○ ○</td> <td>○ ○</td> </tr> </tbody> </table>	領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度	○ ○	○ ○	○ ○	<p>■目的 自らの生活や今後の成長、将来の生活と食生活の関係について考え、望ましい食習慣を形成するために判断し、行動する力を身に付ける。</p> <p>■内容 食に関する指導の全体計画に基づく指導</p> <p>■時期 1年：10月、2年：3月、3年：12月</p> <p>■対象 全学年・全生徒</p> <p>■回数・人数 食の指導は3回（各学年1回）</p> <p>■協働機関</p>	<p>昨年度の指導を継続して行う。</p>
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる											
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩											
令和3年度	○ ○	○ ○	○ ○											
<p>2、 給食指導</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">領域</th> <th style="width: 10%;">1 食をとおして健康をつくる</th> <th style="width: 10%;">2 食をとおして人と育む</th> <th style="width: 10%;">3 食をとおして地域をつくる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○ ○ ○ ○</td> <td></td> <td>○ ○ ○</td> </tr> </tbody> </table>	領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度	○ ○ ○ ○		○ ○ ○	<p>■目的 使用している恵庭産食材や調理の様子を知り、食への関心を高める。</p> <p>■内容 ①給食だより（教室用）の「一口メモ」を給食時間に放送する。 ②給食指導資料を給食時間に学級配布</p> <p>■時期 通年</p> <p>■対象 全学年・全生徒</p> <p>■回数・人数 学校給食センター</p> <p>■協働機関</p>	<p>昨年度の指導を継続して行う。</p>
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる											
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩											
令和3年度	○ ○ ○ ○		○ ○ ○											
<p>3、 ふるさと教育</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">領域</th> <th style="width: 10%;">1 食をとおして健康をつくる</th> <th style="width: 10%;">2 食をとおして人と育む</th> <th style="width: 10%;">3 食をとおして地域をつくる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td></td> <td></td> <td>○ ○ ○</td> </tr> </tbody> </table>	領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度			○ ○ ○	<p>■目的 ふるさとの産業にふれるとともに、地域の人々とのふれあいを通して、地域の一員としての自覚を持たせる。</p> <p>■内容 恵庭中学校ふるさと教育に係る全体計画に基づく指導</p> <p>■時期 12月</p> <p>■対象 2年生</p> <p>■回数・人数</p> <p>■協働機関</p>	<p>例年、恵庭の食材を使用した調理実習を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、調理実習は行わず、各教室での指導のみ実施。 今年度について検討。</p>
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる											
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩											
令和3年度			○ ○ ○											

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

恵庭市立恵庭中学校

事業名	令和3年度取組み状況	令和4年度計画・内容												
<p>4、食育だより</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">領域</th> <th style="width: 25%;">1 食をとおして 健康をつくる</th> <th style="width: 25%;">2 食をとおして 人と育む</th> <th style="width: 25%;">3 食をとおして 地域をつくる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #90ee90;"> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○ ○ ○ ○</td> <td>○ ○ ○</td> <td>○ ○ ○</td> </tr> </tbody> </table>	領域	1 食をとおして 健康をつくる	2 食をとおして 人と育む	3 食をとおして 地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ■目的 学校行事や食の指導の月目標に沿って食育だよりを発行し、生徒自身や家庭に対する食の情報発信する。 ■内容 食に関する指導の指導項目・指導目標に基づく食育だより ■時期 通年 ■対象 全学年・全生徒および家庭 ■回数・人数 月1回 ■協働機関 	<p>昨年度の指導を継続して行う。</p>
領域	1 食をとおして 健康をつくる	2 食をとおして 人と育む	3 食をとおして 地域をつくる											
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩											
令和3年度	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○											

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

特定非営利活動法人 ワーカーズコープ
恵庭地域福祉事業所

事業名				令和3年度取組み状況				令和4年度計画・内容			
1、子どもの生活・学習支援事業				<p>■目的 : 片親家庭や生活困窮世帯の子どもを中心とした、学習と食事の場の提供</p> <p>■内容 : 教員経験者などが学習を支援し、地域のボランティアの方を中心に会場で食事を作成し皆で食事を共にし配膳等各自が行う</p> <p>■時期 : 通年</p> <p>■対象 : 概ね小学4年生～中学1年生の児童（柏小学校・島松小学校）</p> <p>■回数・人数 : 毎週木曜日（子ども10名程度、支援者6名）</p> <p>■協働機関 : 子ども家庭課</p>				<p>人数や感染対策に考慮しながら事業を継続する。</p> <p>季節の野菜や行事食も取り入れ、食への興味をもてるメニューにする。</p> <p>地域の大人と子どもが食を通じてコミュニケーションを図れるよう、一緒に配膳・洗い物・食事作りに関わる記会をつくる。</p>			
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる	領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる	領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩
令和3年度	○	○	○	令和3年度	○	○	○	令和3年度	○	○	○
2、地域・子ども食堂				<p>■目的 : 子どもの孤食や共働き家庭への支援 : 地域の方との関わりを通じて、子どもも大人も安心できる居場所づくり</p> <p>■内容 : 月に1度ボランティアスタッフが中心となりカレーライスを提供 : 本来は「皆で食事を囲み、読み聞かせを行う地域の方との交流の場や親同士の交流の場」を目指す、そのような形態での開催は10月・11月のみで、その他はテイクアウトの対応。</p> <p>■時期 : 通年</p> <p>■対象 : 乳幼児～、保護者、地域の大人</p> <p>■回数・人数 : 毎月第3水曜日、30～70名程度</p> <p>■協働機関 : 市内農家、トドックフードバンク(食材提供)</p>				<p>緊急事態宣言期間も開催。 (玄関や車での受け渡し) 様子を見ながら、室内での受け渡しや交流、食事の時間を共有出来る場面をつくっていく。</p>			
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる	領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる	領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩
令和3年度	○	○	○	令和3年度	○	○	○	令和3年度	○	○	○
3、恵庭市ファミリー・サポート・センター協力会員講習会・会員交流会等				<p>■目的 : ファミリー・サポートの協力会員になるための講習 : 幼児の食に関わる知識を座学・実習を通じて学ぶ</p> <p>■内容 : 食育（栄養・歯の健康）についてを学ぶ座学の実施。事務局の庭先の畑を活用し栽培した野菜を、交流会時に活用。</p> <p>■時期 : 6月・11月</p> <p>■対象 : 恵庭市ファミリー・サポート・センター会員</p> <p>■回数・人数 : 2回、7名</p> <p>■協働機関 : 保健福祉部保健課、子ども未来部子育て支援課</p>				<p>講習は7月・10月の年2回開催。新型コロナウイルス感染症流行の影響で、調理実習は行わず、座学での対応とする。</p> <p>会員交流の一環として、畑での野菜の栽培や収穫・ピザづくり等を計画している。</p>			
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる	領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる	領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩
令和3年度	○	○	○	令和3年度	○	○	○	令和3年度	○	○	○

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

特定非営利活動法人 ワーカーズコープ
恵庭地域福祉事業所

事業名				令和3年度取組み状況		令和4年度計画・内容	
4、 恵庭市地域活動支援センター事業				<p>■目的 : 食を通じて利用者間や職員との関係性をつくる</p> <p>■内容 : 利用者と一緒に汁ものやご飯・おかずを作り食す</p> <p>■時期 : 4月から3月</p> <p>■対象 : 地域活動支援センター利用者・職員</p> <p>■回数・人数 : 週一回、1回7~8名程度</p> <p>■協働機関 :</p>		<p>週一回程度の頻度で、今後も手作りご飯の日を設ける。</p>	
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる				
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩				
令和3年度	○ ○						
5、 カフェ ・ 畑				<p>■目的 : 食を通じて地域のつながりを深める : 就労支援B型(はっぴーjob) の就労の場</p> <p>■内容 : 栄養バランスや安心安全を考えたメニューの提供。自分たちで栽培した野菜のメニューへの活用や販売を通じて、地域の方との交流を行った。</p> <p>■時期 : 通年</p> <p>■対象 : 地域の方・就労支援事業利用者</p> <p>■回数・人数 : 利用者は1日3~10名程度</p> <p>■協働機関</p>		<p>まかない食は利用者の栄養を考えたメニューにこだわっている。</p> <p>畑は今年度も継続し、苗植えや収穫は就労支援事業の利用者と共に行う。</p> <p>収穫体験を地域の方へも呼びかけ、交流や食への関心をもつきっかけとする。</p>	
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる				
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩				
令和3年度	○ ○ ○		○ ○				

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

地域FM放送e-niwa (いーにわ)

事業名	令和3年度取組み状況	令和4年度計画・内容																																																				
<p>1 FM「e-niwa」でのPR放送</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">領域</th> <th colspan="4">1</th> <th colspan="4">2</th> <th colspan="4">3</th> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">食をとおして健康をつくる</td> <td colspan="4">食をとおして人と育む</td> <td colspan="4">食をとおして地域をつくる</td> </tr> <tr style="background-color: #92d050;"> <th>目標</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th> <th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th> <th>9</th><th>10</th> <th>11</th><th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td> <td>○</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	領域	1				2				3					食をとおして健康をつくる				食をとおして人と育む				食をとおして地域をつくる				目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	令和3年度											○		<p>■目的 食育に関心を持つ市民を増やすため、食育に関する情報発信を実施</p> <p>■内容 毎月食育の日（19日）に併せた情報発信情報番組内で5分程度</p> <p>■時期 毎月19日前の木曜日 13：40～</p> <p>■対象 一般市民</p> <p>■回数・人数 年間12回</p> <p>■協働機関 保健課</p>	<p>継続実施</p>
領域	1				2				3																																													
	食をとおして健康をつくる				食をとおして人と育む				食をとおして地域をつくる																																													
目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																										
令和3年度											○																																											
<p>2 FM「e-niwa」でのPR放送</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">領域</th> <th colspan="4">1</th> <th colspan="4">2</th> <th colspan="4">3</th> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">食をとおして健康をつくる</td> <td colspan="4">食をとおして人と育む</td> <td colspan="4">食をとおして地域をつくる</td> </tr> <tr style="background-color: #92d050;"> <th>目標</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th> <th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th> <th>9</th><th>10</th> <th>11</th><th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td> <td>○</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	領域	1				2				3					食をとおして健康をつくる				食をとおして人と育む				食をとおして地域をつくる				目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	令和3年度	○										○		<p>■目的 食育に関心を持つ市民を増やすため、食育に関する情報発信を実施</p> <p>■内容 幼稚園、小学校、中学校の当日の給食を紹介</p> <p>■時期 学校の休日（夏休み・冬休みなど）を除く月曜～金曜 11：30～</p> <p>■対象 一般市民</p> <p>■回数・人数 年間180回程度</p> <p>■協働機関 恵庭市学校給食センター／子ども家庭課</p>	<p>継続実施</p>
領域	1				2				3																																													
	食をとおして健康をつくる				食をとおして人と育む				食をとおして地域をつくる																																													
目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																										
令和3年度	○										○																																											
<p>3 FM「e-niwa」でのPR放送 ほか</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">領域</th> <th colspan="4">1</th> <th colspan="4">2</th> <th colspan="4">3</th> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">食をとおして健康をつくる</td> <td colspan="4">食をとおして人と育む</td> <td colspan="4">食をとおして地域をつくる</td> </tr> <tr style="background-color: #92d050;"> <th>目標</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th> <th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th> <th>9</th><th>10</th> <th>11</th><th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td><td>○</td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td>○</td><td>○</td> <td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>	領域	1				2				3					食をとおして健康をつくる				食をとおして人と育む				食をとおして地域をつくる				目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	令和3年度	○	○							○	○			<p>■目的 地元の音楽ユニット「Dual March」が作詞作曲した「食べて恵庭の野菜」をラジオでのONAIRやスーパーマーケットでの使用、小学校の給食時間を利用した校内放送によって、地産地消に貢献および情報発信</p> <p>■内容 ラジオでは適宜放送中 その他Youtubeで配信中 小学校では放送校あり スーパーではリピート再生使用店あり</p> <p>■時期 通年</p> <p>■対象 一般市民</p> <p>■協働機関 市内スーパーマーケットおよび直売所数件／恵庭市教育委員会／子ども家庭課</p>	<p>継続実施</p>
領域	1				2				3																																													
	食をとおして健康をつくる				食をとおして人と育む				食をとおして地域をつくる																																													
目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																										
令和3年度	○	○							○	○																																												

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

教育部社会教育課

事業名				令和3年度取組み状況				令和4年度計画・内容																																															
<p>1、えにわ大好き！食の体験ランド</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th colspan="3">1</th> <th colspan="3">2</th> <th colspan="3">3</th> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">食をとおして健康をつくる</td> <td colspan="3">食をとおして人と育む</td> <td colspan="3">食をとおして地域をつくる</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>⑦</td><td>⑧</td><td>⑨</td><td>⑩</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> </thead></table>				領域	1			2			3				食をとおして健康をつくる			食をとおして人と育む			食をとおして地域をつくる			目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	令和3年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>■目的 現代的課題の一つである食育において第3次恵庭市食育推進計画に基づき、調理体験や収穫体験、ワークショップによるグループ協議を通して、食や人のつながりの大切さについて考える。</p> <p>■内容 【事業概要】行政（教育委員会）・高等教育機関（北海道文教大学）・農業青年団体（ルキーズカンパニー）との協働事業として実施。 R3年度は新型コロナウイルス感染症への感染拡大防止のため、R2年度に引き続きオンライン開催とし、参加者は自宅からZoomを活用してもらい、リモートによる各種プログラムを体験してもらった。 【プログラム内容】恵庭産のプロッコリーを題材にし、ルキーズカンパニーが動画で食材や農場を紹介、文教大学学生が配信によってクイズを出題。続いて文教大学と各家庭の台所をリモートで繋ぎ、恵庭の食材を使用したプロッコリーの Pasta とレタスサラダの調理教室と食事を行った。</p> <p>■時期 10月23日（土）</p> <p>■対象 小学生2～6年生児童とその保護者</p> <p>■回数・人数 6組</p> <p>■協働機関 北海道文教大学・ルーキーズカンパニー</p>				<p>R2～3年度は新型コロナウイルスの影響によりオンラインで開催したが、昨年度の参加者アンケートで、オンラインより対面での実施を望む声が多かったことや、新型コロナウイルスの影響が落ち着いてきたため、主催3団体の協議により、対面で10月に開催することに決定。詳細は協議中。</p>					
領域	1			2			3																																																
	食をとおして健康をつくる			食をとおして人と育む			食をとおして地域をつくる																																																
目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩																																													
令和3年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																													
<p>2、恵庭市公民館主催事業</p> <p>【親子ふれあい教室】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th colspan="3">1</th> <th colspan="3">2</th> <th colspan="3">3</th> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">食をとおして健康をつくる</td> <td colspan="3">食をとおして人と育む</td> <td colspan="3">食をとおして地域をつくる</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td> </tr> </thead></table>				領域	1			2			3				食をとおして健康をつくる			食をとおして人と育む			食をとおして地域をつくる			目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	令和3年度					○	○		○			<p>■目的 子どもたちに創作や遊びの技術を学ばせるとともに、料理を通して親子が触れ合う機会を創出する。</p> <p>■内容 ①親子でクッキング ②クリスマスケーキ作り ③ひなまつりケーキ作り（新型コロナウイルスの影響により中止）</p> <p>■時期 ①4月17日(土)、②12月11日(土)、③2月19日(土)(中止)</p> <p>■対象 小学生の親子</p> <p>■回数・人数 ①22名(大人10名、子ども12名)、②7組、③中止</p> <p>■協働機関 講師：市民講座・料理教室担当講師</p>				<p>内容は概ね令和3年度と同様に検討している。 4月23日（土）に親子ふれあい教室「親子で楽しいパンづくり講座」を開催し、18名（大人8名・子ども10名）の参加があった。</p>					
領域	1			2			3																																																
	食をとおして健康をつくる			食をとおして人と育む			食をとおして地域をつくる																																																
目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																													
令和3年度					○	○		○																																															
<p>3、恵庭市公民館主催事業</p> <p>【日曜趣味講座】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th colspan="4">1</th> <th colspan="3">2</th> <th colspan="3">3</th> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">食をとおして健康をつくる</td> <td colspan="3">食をとおして人と育む</td> <td colspan="3">食をとおして地域をつくる</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td> </tr> </thead></table>				領域	1				2			3				食をとおして健康をつくる				食をとおして人と育む			食をとおして地域をつくる			目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	令和2年度	○							○			<p>■目的 公民館事業として関心の高い「食」をテーマに平日の講座に参加できない人に参加の機会をつくる</p> <p>■内容 そば打ち基礎講座</p> <p>■時期 10月17日（日）</p> <p>■対象 一般市民</p> <p>■回数・人数 7名</p> <p>■協働機関 講師：恵庭手打ちそばの会</p>				<p>内容は概ね令和3年度と同様に検討している。</p>			
領域	1				2			3																																															
	食をとおして健康をつくる				食をとおして人と育む			食をとおして地域をつくる																																															
目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																													
令和2年度	○							○																																															

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

教育部学校給食センター

事業名		令和3年度取組み状況		令和4年度計画・内容																																													
<p>1. 学校給食の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th colspan="4">1</th> <th colspan="4">2</th> <th colspan="2">3</th> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">食をとおして健康をつくる</td> <td colspan="4">食をとおして地域をつくる</td> <td colspan="2">食をとおして地域をつくる</td> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th> <th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th> <th>9</th><th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td><td></td><td></td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td> <td>○</td><td></td> </tr> </tbody> </table>		領域	1				2				3			食をとおして健康をつくる				食をとおして地域をつくる				食をとおして地域をつくる		目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	令和3年度	○			○	○	○	○		○		<p>■目的 心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することで、健康の増進と体位の向上を図るとともに、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、好ましい人間関係を育てる。</p> <p>■内容 学校給食を食に関する指導の「生きた教材」として活用し、栄養バランスのとれた食事内容の体験を通して学ばせるとともに、家庭との連携により家庭における食の指導の充実を図った。</p> <p>■時期 通年</p> <p>■対象 小学校/784,089食、中学校/394,980食 ※教職員含む</p> <p>■提供日数 175日から200日/年</p> <p>■協働機関 (一財)恵庭市学校給食協会</p>		<p>■令和3年度と同様に実施</p> <p>■対象 小学校/3,985食 中学校/2,112食 ※R4.6.8現在</p> <p>■提供日数 184日から197日/年</p>	
領域	1				2				3																																								
	食をとおして健康をつくる				食をとおして地域をつくる				食をとおして地域をつくる																																								
目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																							
令和3年度	○			○	○	○	○		○																																								
<p>2. 食指導（小学校）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th colspan="4">1</th> <th colspan="4">2</th> <th colspan="2">3</th> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">食をとおして健康をつくる</td> <td colspan="4">食をとおして地域をつくる</td> <td colspan="2">食をとおして地域をつくる</td> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th> <th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th> <th>9</th><th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td></td> </tr> </tbody> </table>		領域	1				2				3			食をとおして健康をつくる				食をとおして地域をつくる				食をとおして地域をつくる		目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	令和3年度	○	○		○	○	○	○	○	○		<p>■目的 児童が食物に関心を持ち、みんなで楽しく給食を食べることから食物の働きを理解し、好き嫌いなく食べることができるような指導を行う。</p> <p>■内容 「食に関する指導の全体計画」に基づき指導したほか、栄養調査と給食調査を隔年で行うとともに、給食だよりの発行などを実施した。</p> <p>■時期 通年</p> <p>■対象 小学校8校全児童</p> <p>■協働機関 各小学校</p>		<p>■令和3年度と同様に実施予定</p>	
領域	1				2				3																																								
	食をとおして健康をつくる				食をとおして地域をつくる				食をとおして地域をつくる																																								
目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																							
令和3年度	○	○		○	○	○	○	○	○																																								
<p>3. 食指導（中学校）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th colspan="4">1</th> <th colspan="4">2</th> <th colspan="2">3</th> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">食をとおして健康をつくる</td> <td colspan="4">食をとおして地域をつくる</td> <td colspan="2">食をとおして地域をつくる</td> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th> <th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th> <th>9</th><th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td></td> </tr> </tbody> </table>		領域	1				2				3			食をとおして健康をつくる				食をとおして地域をつくる				食をとおして地域をつくる		目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	令和3年度	○	○		○	○	○	○	○	○		<p>■目的 生徒が望ましい食生活の基本と食習慣を身につけ、食事を通し自らの健康管理能力を育成させるよう指導を行う。</p> <p>■内容 各学校における「食に関する指導の全体計画」に基づき各教科及び特別活動や総合学習の時間にて食指導を行った。また、栄養調査と給食調査を隔年で実施したほか給食だよりの発行などを実施した。</p> <p>■時期 通年</p> <p>■対象 中学校5校全生徒</p> <p>■協働機関 各中学校</p>		<p>■令和3年度と同様に実施予定</p>	
領域	1				2				3																																								
	食をとおして健康をつくる				食をとおして地域をつくる				食をとおして地域をつくる																																								
目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																							
令和3年度	○	○		○	○	○	○	○	○																																								
<p>4. 給食試食会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th colspan="4">1</th> <th colspan="4">2</th> <th colspan="2">3</th> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">食をとおして健康をつくる</td> <td colspan="4">食をとおして地域をつくる</td> <td colspan="2">食をとおして地域をつくる</td> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th> <th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th> <th>9</th><th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td><td></td><td></td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td> <td>○</td><td></td> </tr> </tbody> </table>		領域	1				2				3			食をとおして健康をつくる				食をとおして地域をつくる				食をとおして地域をつくる		目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	令和3年度	○			○	○	○	○		○		<p>■目的 保護者に学校給食を理解してもらうことを目的に実施。</p> <p>■内容 食についての問題や給食の実態、疑問、要望等の話し合いの場とする予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策により中止。</p> <p>■対象 小・中学校の保護者として開催予定であった。</p>		<p>■令和3年度と同様に実施予定</p>	
領域	1				2				3																																								
	食をとおして健康をつくる				食をとおして地域をつくる				食をとおして地域をつくる																																								
目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																							
令和3年度	○			○	○	○	○		○																																								

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

教育部学校給食センター

事業名	令和3年度取組み状況	令和4年度計画・内容																																																				
<p>5. 食物アレルギー対応</p> <table border="1" data-bbox="120 308 582 453"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th colspan="4">1</th> <th colspan="4">2</th> <th colspan="4">3</th> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">食をとおして健康をつくる</td> <td colspan="4">食をとおして人と育む</td> <td colspan="4">食をとおして地域をつくる</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td> <td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td> <td>9</td><td>10</td> <td>11</td><td>12</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td><td></td><td></td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td> <td></td><td></td> <td></td><td></td> </tr> </thead></table>	領域	1				2				3					食をとおして健康をつくる				食をとおして人と育む				食をとおして地域をつくる				目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	令和3年度	○			○	○	○	○						<p>■目的 学校、保護者と連携を密にし、給食による食物アレルギーの事故防止とみんなで給食をたべる楽しさを共有する。</p> <p>■内容 対象者を把握し、代替食の提供及びアレルギー対応連絡表の配布を実施。</p> <p>■時期 通年</p> <p>■対象 317人(小学校/185、中学校/132人) ※R4.3.31現在</p> <p>■協働機関 (一財)恵庭市学校給食協会</p>	<p>■令和3年度と同様に実施</p> <p>■牛乳代替及び牛乳停止数 小学校/107人 中学校/85人 ※R4.4.8現在</p>
領域	1				2				3																																													
	食をとおして健康をつくる				食をとおして人と育む				食をとおして地域をつくる																																													
目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																										
令和3年度	○			○	○	○	○																																															
<p>6. 食育情報の発行</p> <table border="1" data-bbox="120 537 582 683"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th colspan="4">1</th> <th colspan="4">2</th> <th colspan="4">3</th> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">食をとおして健康をつくる</td> <td colspan="4">食をとおして人と育む</td> <td colspan="4">食をとおして地域をつくる</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td> <td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td> <td>9</td><td>10</td> <td>11</td><td>12</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td> </tr> </thead></table>	領域	1				2				3					食をとおして健康をつくる				食をとおして人と育む				食をとおして地域をつくる				目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	令和3年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>■目的 食育の推進を図るため、食に関するテーマのもと毎月家庭に情報の提供を行う。</p> <p>■内容 給食だよりの献立の裏面を活用し、「しょくいく」情報を発行。</p> <p>■時期 通年</p> <p>■対象 小学校全児童、中学校全生徒及び保護者</p> <p>■回数 毎月1回</p>	<p>■令和3年度と同様に実施</p>
領域	1				2				3																																													
	食をとおして健康をつくる				食をとおして人と育む				食をとおして地域をつくる																																													
目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																										
令和3年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																										
<p>7. 料理教室</p> <table border="1" data-bbox="120 767 582 912"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th colspan="4">1</th> <th colspan="4">2</th> <th colspan="4">3</th> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">食をとおして健康をつくる</td> <td colspan="4">食をとおして人と育む</td> <td colspan="4">食をとおして地域をつくる</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td> <td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td> <td>9</td><td>10</td> <td>11</td><td>12</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td><td></td><td></td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td> <td></td><td></td> <td></td><td>○</td> </tr> </thead></table>	領域	1				2				3					食をとおして健康をつくる				食をとおして人と育む				食をとおして地域をつくる				目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	令和3年度	○			○	○	○	○					○	<p>■目的 食育の推進を図るため、子どもを対象とした事業を実施し、食への関心を高める。</p> <p>■内容 北海道文教大学、(一財)恵庭市学校給食協会と共催し「恵庭の野菜を食べよう！」をテーマに料理教室を開催。</p> <p>■日時・会場 令和3年11月21日(日)10時～ 北海道文教大学</p> <p>■対象 小学校1年生～3年生とその保護者</p> <p>■参加人数 児童17人・保護者17人</p> <p>■協働機関 北海道文教大学、(一財)恵庭市学校給食協会</p>	<p>■令和3年度と同様に実施予定</p>
領域	1				2				3																																													
	食をとおして健康をつくる				食をとおして人と育む				食をとおして地域をつくる																																													
目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																										
令和3年度	○			○	○	○	○					○																																										
<p>8. 食育推進展示</p> <table border="1" data-bbox="120 1026 582 1171"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th colspan="4">1</th> <th colspan="4">2</th> <th colspan="4">3</th> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">食をとおして健康をつくる</td> <td colspan="4">食をとおして人と育む</td> <td colspan="4">食をとおして地域をつくる</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td> <td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td> <td>9</td><td>10</td> <td>11</td><td>12</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○</td><td></td><td></td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td> <td></td><td></td> <td></td><td>○</td> </tr> </thead></table>	領域	1				2				3					食をとおして健康をつくる				食をとおして人と育む				食をとおして地域をつくる				目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	令和3年度	○			○	○	○	○					○	<p>■目的 学校給食による、小学校・中学校での食指導や恵庭産野菜を活用した献立を紹介し食育の推進を図る。</p> <p>■内容 学校給食のパネル展示や、「給食だよりに」により食育情報を提供した。</p> <p>■日時・場所 令和3年6月17日(木)～30日(水) 恵庭駅西口空中回廊 令和3年6月24日(木)～7月7日(月) えにあす1階 令和3年7月8日(木)～21日(水) 図書館本館1階 令和3年11月19日(金) えにあす1階ホール</p> <p>■対象 恵庭市市民及び恵庭市来訪者</p> <p>■協働機関 保健課ほか</p>	<p>■令和3年度と同様に実施予定</p>
領域	1				2				3																																													
	食をとおして健康をつくる				食をとおして人と育む				食をとおして地域をつくる																																													
目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																										
令和3年度	○			○	○	○	○					○																																										

食育推進事業取組み状況

機関・団体名 子ども未来部 子ども家庭課

事業名		令和3年度取組み状況		令和4年度計画・内容											
1、子育てセミナー		<p>■目的 ・乳幼児の保護者を対象に、食や栄養に関する知識や情報の提供を行うことで、離乳食に関する不安を軽減するとともに、家族の食について考える一機会とする。</p> <p>■内容 ・子育てセミナーとして実施（講師：保健課栄養士） ①食育講座 ②離乳食について</p> <p>■時期 ①食育講座：令和3年9月（コロナ禍により中止） ②離乳食について：令和3年12月</p> <p>■対象 ・就学前の子どもとその保護者</p> <p>■回数・人数 ②乳幼児の親子8組（計16名）</p> <p>■協働機関 保健課</p>		<p>■前年度と同様に実施予定</p> <p>・離乳食について 令和4年4月実施予定</p> <p>・食育講座 令和4年6月実施予定</p>											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">領域</th> <th style="width: 33%;">1 食をとおして健康をつくる</th> <th style="width: 33%;">2 食をとおして人と育む</th> <th style="width: 33%;">3 食をとおして地域をつくる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>①②③④</td> <td>⑤⑥⑦</td> <td>⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>○ ○ ○ ○</td> <td>○ ○ ○ ○</td> <td>○ ○ ○ ○</td> </tr> </tbody> </table>		領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる	目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩	令和3年度	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる												
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩												
令和3年度	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○												

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

子ども未来部 すみれ保育園

事業名				令和3年度取組み状況				令和4年度計画・内容			
1、保育所給食				<ul style="list-style-type: none"> ■目的 子どもの健やかな発育・発達をめざし、同時に子どもの食事、食生活を支援していく ■内容 昼食1回、間食2回（3歳以上児は1回） ■時期 通年 ■対象 全園児 ■回数・人数 保育所開所日に準ずる ■協働機関 				<ul style="list-style-type: none"> ■3年度同様に実施 			
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる								
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩								
令和3年度	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○								
2、菜園活動、収穫体験				<ul style="list-style-type: none"> ■目的 自らの体験や感覚を通して、自然の恵みや育てた人への感謝の気持ち、命を大切にすることを育む。 ■内容 野菜等の栽培、収穫 3歳以上児：枝豆、ミニトマト、人参、玉ねぎ、さつまい 2歳児：ミニトマト、なすび、ピーマン ■時期 4月～11月 ■対象 2歳児、3歳以上児 ■回数・人数 ■協働機関 (公財)道央農業振興公社(じゃが芋収穫機会の提供) 				<ul style="list-style-type: none"> ■園敷地内にある菜園を移動するため、4年度は使用できない。 プランター等を中心に栽培・収穫を行なう予定。 			
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる								
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩								
令和3年度	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○								
3、クッキング保育				<ul style="list-style-type: none"> ■目的 自ら料理をすることで、食への興味を引き出し、作ること・食べることの楽しさを伝える ■内容 クッキング活動 ※加熱調理は保育士等が行い、園児は見学のみ。(ずんだもち、カレー) ■時期 通年 ■対象 3歳以上児 ■回数・人数 2回各45名 ■協働機関 				<ul style="list-style-type: none"> ■3年度同様に実施 これまでと同様、感染症感染予防対策を講じながら、実施する。 			
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる								
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩								
令和3年度	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○								

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

子ども未来部 すみれ保育園

事業名				令和3年度取組み状況		令和4年度計画・内容	
4、保育所給食 試食会				<p>■目的 保育所給食に対する保護者の理解を深める</p> <p>■内容 保育園人気メニューの試食・レシピ配布 アンケート実施（給食レシピの活用状況） ※新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から中止した。</p> <p>■対象 保育所の保護者</p> <p>■回数・人数</p> <p>■協働機関</p>		<p>■今年度も中止する。園児の嗜好の把握方法については、検討中。</p>	
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる				
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩				
令和3年度	○ ○ ○		○ ○ ○				
5、季節や文化を通じた食育活動				<p>■目的 食を通して季節感や、伝統的な食文化を伝える</p> <p>■内容 日々の給食や保育の中で、季節感や伝統的な食育活動の実施（七草粥・焼き芋・餅つき等）</p> <p>■時期 通年</p> <p>■対象 全園児</p> <p>■回数・人数 各1回</p> <p>■協働機関</p>		<p>■3年度同様に実施 感染症の感染拡大状況により、行事の時の地域の方（町内会・老人クラブ）との交流については、検討する。</p>	
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる				
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩				
令和3年度	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○				
6、地産地消の取組				<p>■目的 安心安全な給食の提供、地域の活性化</p> <p>■内容 地域で収穫された農産物等を給食に取り入れる。 給食だより、食育だより等により保護者に使用食材の産地を伝える。 地元の農産物を知る機会として紹介する。</p> <p>■時期 5月～11月中旬（米は通年）</p> <p>■対象 全園児</p> <p>■回数・人数</p> <p>■協働機関 恵庭農畜産物直売所「かのな」、JA道央、コープさっぽろ恵み野店</p>		<p>■3年度同様に実施</p>	
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる				
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩				
令和3年度	○ ○ ○		○ ○ ○				
7、しょくいくだより、保育所給食レシピの				<p>■目的 食に関する情報の提供</p> <p>■内容 食に関する情報を掲載した「食育だより」と季節に合わせた保育園給食メニューレシピの配布、市ホームページへの掲載</p> <p>■時期 通年</p> <p>■対象 保育所保護者</p> <p>■回数・人数 月1回</p> <p>■協働機関</p>		<p>■食に関する情報を掲載した「食育だより」については、3年度同様に作成する。（合わせて市ホームページ掲載） 保育園給食メニューレシピの配布は、新メニュー作成・給食提供時に実施予定。</p>	
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる				
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩				
令和3年度	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○				

食育推進事業取組み状況

機関・団体名

子ども未来部 すみれ保育園

事業名				令和3年度取組み状況		令和4年度計画・内容	
8、給食・食育会議、研修会の実施				<p>■目的 保育所の給食・食育について検討する</p> <p>■内容 給食献立検討、食育計画の策定、意見交換、食育活動報告、衛生管理研修、調理実習（新メニューの開発・調理作業手順の確認）</p> <p>■時期 通年</p> <p>■対象 保育士、調理員、栄養士等（認可保育園11園）</p> <p>■回数・人数 給食・食育会議 年12回（R2・3年度は全て書面会議） 調理実習 年1回（3年度は中止） 衛生管理研修会 年1回 （衛生管理アンケート実施後、千歳保健所より助言を受け資料にて確認）</p>		<p>■給食・食育会議 実施方法を検討した結果、4年度については、書面での実施に変更。</p> <p>■衛生管理研修会 2・3年度は、保健所主催の研修会を恵庭市保育園・認定こども園調理従事者対象として実施いただく予定でしたが、資料提供のみ実施。4年度も資料提供を実施。</p> <p>■3年度と同様に実施</p>	
9、非常食の試食				<p>■目的 非常時の給食や災害時の食について関心を持つ</p> <p>■内容 保育所で備蓄している非常食の試食（レトルトカレー、アルファ米、缶詰、クラッカー等）</p> <p>■時期 通年</p> <p>■対象 全園児</p> <p>■回数・人数 2回</p> <p>■協働機関 市基地・防災課（一部、備蓄食の提供）</p>			
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる				
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩				
令和3年度	○ ○ ○ ○		○ ○				

食育推進事業取組み状況

機関・団体名 保健福祉部保健課（恵庭市保健センター）

事業名				令和3年度取組み状況	令和4年度計画・内容
1、妊婦教室（マタニティクラス）				<p>■目的 ・妊娠中から自分の食生活を振り返り、バランスのよい食事や必要な栄養素の摂取について理解を深める。</p> <p>■内容 ・講話「妊娠期・産後の食事について」</p> <p>■時期 8月、11月、2月</p> <p>■対象 妊娠16～35週（5～9か月）の初妊婦とその家族</p> <p>■回数・人数 3回 25名</p> <p>■協働機関</p>	<p>■前年度と同様に実施予定（コロナの影響により調理デモンストレーション・試食は中止）</p>
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる		
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩		
令和3年度	○	○	○		
2、育児教室				<p>■目的 ・離乳中期の量や形態等の進め方がわかる。 ・離乳食の進め方などの不安や悩みについて解決策がわかり、ゆったりとした気持ちで離乳食が与えられる。</p> <p>■内容 講話「離乳食の進め方」（調理実演、試食は中止）</p> <p>■時期 年6回（内1回はコロナの影響で中止）</p> <p>■対象 生後6～7か月の乳児とその保護者</p> <p>■回数・人数 5回 69名</p> <p>■協働機関</p>	<p>■前年度と同様に実施予定 ・離乳食作りの実演に関しては動画を作成し、教室内で見てもらうこととする。</p>
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる		
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩		
令和3年度	○	○	○		
3、食育講座				<p>■目的 様々な経験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得する。 家族の食について考える機会とする。</p> <p>■内容 栄養士・歯科衛生士講話 テーマ「えにわの野菜で元気いっぱい！フレッシュえにベジ」 テーマに沿ったメニュー紹介等</p> <p>■時期 コロナの影響により中止となった</p> <p>■会場 子育て支援センター（はくよう、しままつ、めぐみの、こがね、かしわ、えにわ）</p> <p>■回数・人数</p> <p>■協働機関 子育て支援センター</p>	<p>■前年度と同様に実施予定 ・会場にオンラインを追加して6月に実施予定。</p>
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる		
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩		
令和3年度	○	○	○		

食育推進事業取組み状況

機関・団体名 保健福祉部保健課（恵庭市保健センター）

事業名				令和3年度取組み状況		令和4年度計画・内容	
4、食育講演会				<p>■目的 市民及び関係者が食育についての理解を深め、学ぶ機会とし、食育推進に取り組めるよう普及啓発を図る。</p> <p>■内容 テーマ 食で育む子どもの未来 ～星澤流の食育、伝授します～ 講師 クッキングキャスター 星澤幸子 氏</p> <p>■対象 市民</p> <p>■時期 11/19（金）10時30分～</p> <p>■回数・人数 33名</p> <p>■協働機関</p>		<p>■開催時期は、秋頃を予定</p>	
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる				
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩				
令和3年度	○	○	○	○	○		
5、食育推進展示（えにわの食育展）				<p>■目的 関係機関や団体での食育推進の取り組みを通じ、食に関する知識や情報を伝え、市民の食に対する関心を高める。</p> <p>■日時・会場 ①6/17(木)～30(水)恵庭駅西口空中歩廊 ②6/24(木)～7/7(水) えにあす1階 ③7/8(木)～21(水) 図書館本館 ④11/19(金) えにあす(食育講演会同時開催)</p> <p>■内容 食育の取組みパネル展示、レシピ・パンフレット等配布</p> <p>■回数・人数 全4回 355名</p> <p>■協働機関 北海道文教大学、ルーキーズカンパニー、子ども未来部子育て支援課、経済部商工労働課、教育部学校給食センター、教育部社会教育課</p>		<p>■内容 前年度と同様に実施予定</p> <p>■日時・会場 ①6/1(水)～13(月) えにあす 1階 ②6/21(火)～7/15(金) 図書館本館 1階 ③令和4年秋頃 恵庭市食育講演会と同時開催</p>	
領域	1 食をとおして健康をつくる	2 食をとおして人と育む	3 食をとおして地域をつくる				
目標	①②③④	⑤⑥⑦	⑧⑨⑩				
令和3年度	○	○	○	○	○		

デジタル技術を活用した食育の推進 デジタル食育ガイドブック









資料3



農林水産省






デジタル食育のことを知りたい方は▶▶▶

デジタル食育の概要

はじめに	2 	「デジタル食育」の主なメリット	6 
これから「デジタル食育」を始める皆様へ	3 	「リアルの体験」と「デジタル食育」	8 
ガイドブックのねらい	4 	「デジタル食育」の注意すべきポイント	9 
「デジタル食育」とは?	5 	「デジタル食育」の主な発信方法	10 






オンライン食育イベントを開催したい方は▶▶▶

オンライン食育イベント

「オンライン食育イベント」制作フローチャート	11 	よくあるトラブルや制作上の留意点	21 
「オンライン食育イベント」実証体験レポート	12 	「オンライン食育イベント」事例	23 
「オンライン食育イベント」運営マニュアル	16 		




食育動画を制作したい方は▶▶▶

食育動画

「食育動画」制作フローチャート	27 	「食育動画」よくある失敗や制作上の留意点	33 
動画制作上の注意点	28 	「食育動画」事例	35 
「食育動画」実証体験レポート	29 		

SNSを活用した食育活動を行いたい方は▶▶▶

SNSを活用した食育活動

「SNSを活用した食育活動」フローチャート	39 	「SNSを活用した食育活動」事例	41 
「SNSを活用した食育活動」運用上の注意点	40 		

アプリを活用した食育活動を行いたい方は▶▶▶

アプリを活用した食育活動

アプリを活用した食育活動	43 	「アプリを活用した食育活動」事例	44 
--------------------	---	------------------------	--

「デジタル食育」をさらによくするために▶▶▶

「デジタル食育」のPDCAサイクル

「デジタル食育」のPDCAサイクル	45 
-------------------------	--

生活を支える多くの分野でICT（情報通信技術）やAI（人工知能）の活用等デジタル技術は日々進展し、普及が加速しています。

さらに昨今では新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、身体的距離の確保や3密の回避が迫られる中、デジタル技術の活用は喫緊の課題となっており、第4次食育推進基本計画においては、横断的な重点事項として「デジタル技術を活用した食育の推進」等が位置付けられています。

これからの「新たな日常」においては「デジタル食育」の推進により、食育の活動者を増やしていくことが必要となります。

そこで、「デジタル技術を活用した食育の推進」等についての実証及び調査を実施し、実施の際の留意点を盛り込んだ「デジタル食育ガイドブック」を作成しました。

これからデジタル技術を活用した食育の推進を目指す農林漁業者、各種団体、企業等の「デジタル食育」の実践に、「デジタル食育ガイドブック」をお役立てください。



概要
デジタル食育の

オンライン
食育イベント

食育動画

SNSを活用した
食育活動

アプリを活用した
食育活動

「デジタル食育」の
PDCAサイクル

デジタル食育の概要

オンライン食育イベント

食育動画

SNSを活用した食育活動

アプリを活用した食育活動

「デジタル食育」のPDCAサイクル

失敗を恐れず「デジタル食育」にチャレンジ!

「デジタル食育」は、「新たな日常」の時代には欠かせないコミュニケーション手段です。まずは失敗を恐れずにチャレンジしてみましょう。最初は完成度が高くなくてもよいので「デジタル食育」の最初の一步を踏み出しましょう。

楽しみながら取り組むことが「デジタル食育」長続きの秘訣!

「デジタル食育」はとっつきにくいものと思われるかもしれませんが、そう感じるのは最初だけです。慣れないことでも楽しみながら始めることが大切です。楽しみながら行うことが「デジタル食育」を長続きできる秘訣とも言えるでしょう。

トライ&エラーを繰り返してステップアップ!

こうしたらもっと上手くいくかも、もっと効果が上がるかも、と思ったらどんどん試してみましょう。そして効果がうまく上がらなかったら違う方法を考えてみる。このトライ&エラーの繰り返しが、「デジタル食育」を上達させていきます。

ガイドブックの対象者

このデジタル食育ガイドブックは

**「デジタル食育」の取組に関心があり、
今後実践してみたいと考えている
食育に取り組む個人・グループの方々**

を対象に作成しています。



ガイドブックのねらい

- 1 「デジタル食育」に取り組もうとしている利用者が、このガイドブックを参照して「デジタル技術を活用した食育の推進」の一助となることを目的に編集しています。
- 2 このガイドブックはルールを示したものではなく参考資料として作成しています。必要に応じて部分的に参照して活動に役立てていただけます。
- 3 これから「デジタル食育」に取り組もうとされている方の参考になるよう、「オンライン会議システムを活用した食育活動」、「食育動画を活用した食育活動」の実証を行い、参加された団体等の声も交えて編集しました。



本ガイドブックにおいて、デジタル技術を活用して効果的に行う食育活動を「デジタル食育」といいます。

「デジタル食育」手法の一例

● オンライン会議システムを活用した食育活動



全国どこからでも
リアルタイムで
参加者とつながる

● 食育動画の作成・公開



事前に制作した
動画をホームページや
YouTubeなどで
繰り返し配信

● ホームページやブログによる食育情報の発信



不特定多数の人々に
食育情報を持続的に
発信できる

● SNSによる食育情報の発信



インスタグラム、
Twitter、Facebook
などで食育情報を拡散

● 学校現場でのタブレットを活用した食育



動画教材等で子供の
興味をひきやすく
視覚的にわかりやすい

● アプリを活用した食育活動

アプリで健康管理や
食の教育等ができる



概要
デジタル食育の

オンライン
食育イベント

食育動画

SNSを活用した
食育活動

アプリを活用した
食育活動

「デジタル食育」の
P.D.C.Aサイクル

メリット①

「新たな日常」の中で食育を推進

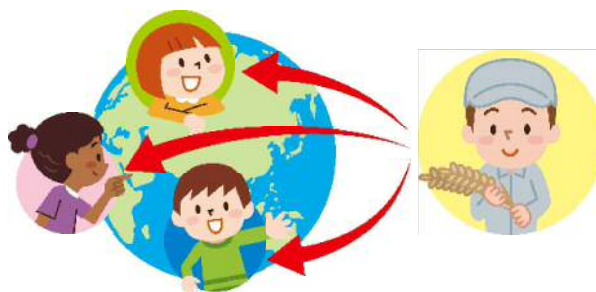
「新たな日常」において人を集めた食育活動が制限される中でも「デジタル食育」であればオンラインで食育を推進できます。



メリット②

どこからでも食育に取り組める

参加者はインターネット回線さえあればどこからでも「デジタル食育」に参加できます。講師と参加者が離れていても食育を行うことができます。



メリット③

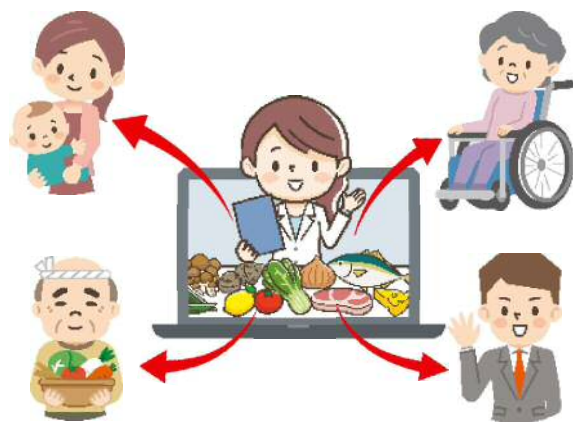
いつでも食育活動に参加できる

食育動画を好きな時に視聴できたり、食育アプリでちょっと空いた時間に楽しみながら学べたりと、いつでも気軽に食育に参加できます。



メリット④ 今までとは違う層と つながる

「デジタル食育」はオンラインでのコミュニケーションとなるため、これまでの食育活動とは異なる新たな層へのリーチが期待できます。



メリット⑤ 楽しみながら食育を 推進できる

ゲーム感覚で食育の授業を受けられたり、アプリを使って日々の健康管理しながらポイントが貯まったりと楽しみながら食育を推進できます。



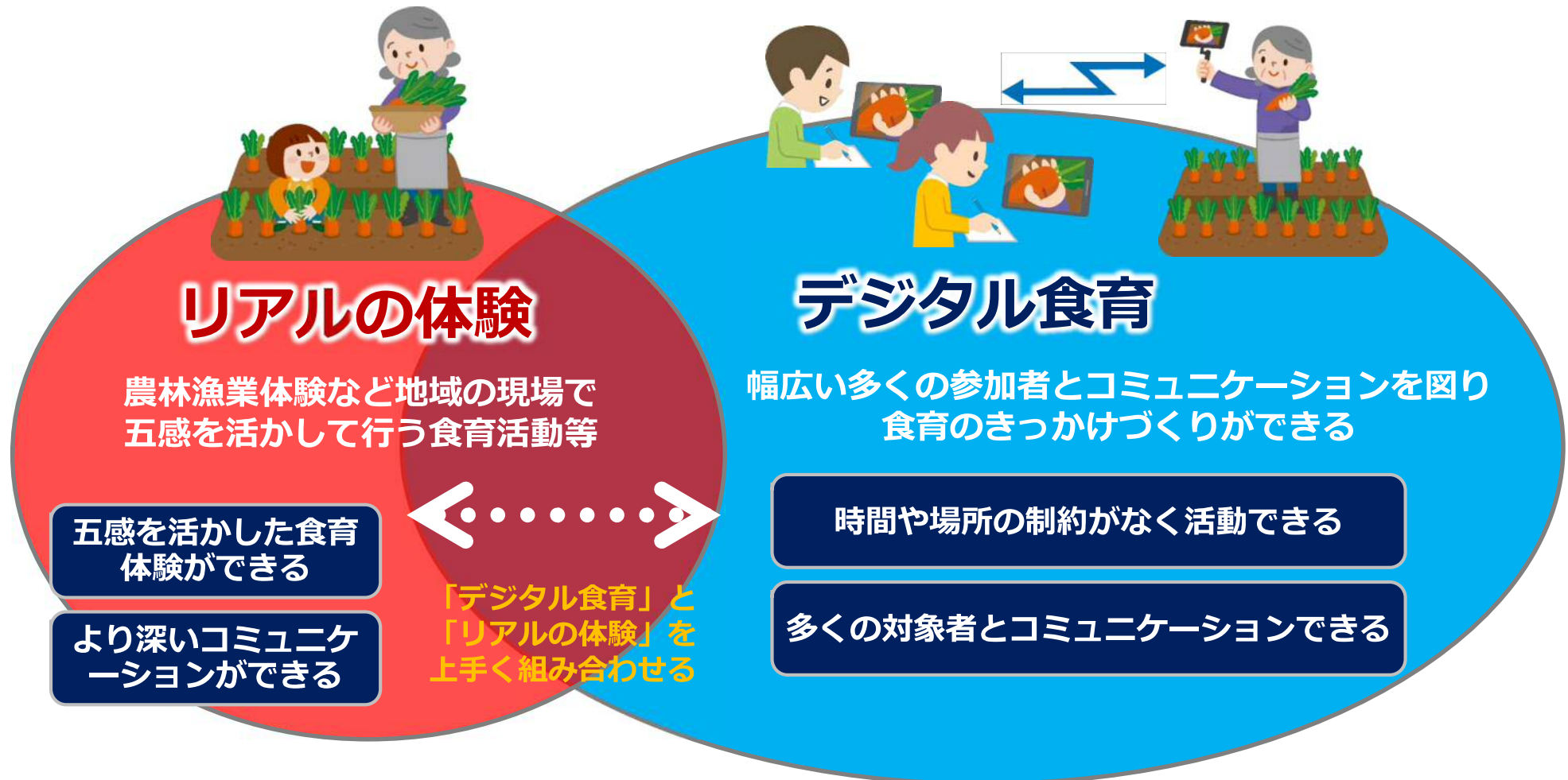
メリット⑥ 食育情報のリソース を活用できる

食育情報のデジタル化により、いつでもどこからでも食育情報を取り出せたり、食育のリソースを活用でき、食育活動の効率化を図ることができます。



「リアルの体験」と「デジタル食育」を上手く組み合わせる

「デジタル食育」にはオンラインならではのメリットが多くありますが、「リアルの体験」には五感を活かした食育活動ができるなどのメリットがあります。これら双方の良さを補完できるよう、「リアルの体験」と「デジタル食育」とを上手く組み合わせることで食育の課題を解決していきましょう。



①対象者のITリテラシー^(注)やネット環境に応じた対応が必要

- 参加者側には通信速度の安定したインターネット回線と最低限のITリテラシーが必要となります。
- 対象者がオンライン会議システムに慣れていない場合などはIT環境の事前確認が必須となります。
- オンライン初心者に向けレクチャーを行うことなどで、参加者の不安を取り除くことができます。



③参加者を飽きさせないコンテンツづくり

- 「デジタル食育」は直接対面して行わないため、緊張感が続かず飽きてしまう傾向が強まります。
- また、オンラインでは参加者とのコミュニケーションがとりづらく、参加者の反応を得にくいものです。
- 参加者にライブ感を感じられるよう視覚的にも工夫して興味を引き付けて飽きさせないようにする必要があります。



(注) ITを理解する能力、使いこなす能力

②著作権、肖像権、個人情報には注意

- 「デジタル食育」では不特定多数が閲覧するようになるため、特に著作権、肖像権等への配慮が必要です。
- 他人が制作した写真、イラスト、音楽等には著作権が存在します。
- 写真や動画を撮影する際には、他人や車のナンバープレート、特定の施設等が映り込まないように注意を払いましょう。
- 個人情報を取得した場合、流出しないようデータの管理を徹底しましょう。



④視聴者側の安全管理に配慮を

- 「デジタル食育」では、主催者と視聴者が離れていることが多く、主催者では視聴者側の安全管理を行えないことがあります。
- 主催者から視聴者に向けて注意喚起の呼びかけを行うことで、事故防止につながります。



「デジタル食育」の主な発信方法

Webサイトといった基本的な情報発信ツールから、交流や投稿のできる拡散力のあるSNS、そして動画配信サービスやライブ配信など様々な手段があります。ここでご紹介した発信方法は一例です。各団体の持つ課題や活動内容によって「デジタル食育」の手法は異なってきますが、優先順位を決めてできるところから展開していきましょう。



概要
デジタル食育の

オンライン
食育イベント

食育動画

SNSを活用した
食育活動

アプリを活用した
食育活動

デジタル食育の
P.D.C.Aサイクル

「オンライン食育イベント」制作フローチャート

オンライン食育イベントは当日の運営だけでなく、企画から開催まで数多くの準備を行うべき段階があります。企画から事後フォローまでの全体の流れと行うべきタスクを事前に把握し、漏れがないよう準備を進めましょう。

段 階	項 目	実施内容
Plan (計画)	【約2~3ヶ月前】 ① 企画	<ul style="list-style-type: none"> ● 予算に応じた企画の作成 ● 参加団体や主催団体を決め、主導権を持つリーダー役を選定する ● 実施目的、ターゲットを明確にしてテーマ、発信内容を設定 ● 開催日時決定、(会場が必要な場合)会場の下見を行い決定・予約 ● 出演者・講師等の選定・交渉・決定
	【約1~2ヶ月前】 ② 準備	<ul style="list-style-type: none"> ● 配信サービス・機材の決定 ● 進行概要や運営方法の検討・準備
	【約1ヶ月前】 ③ 告知	<ul style="list-style-type: none"> ● アプローチ方法を決定 ● 告知集客、参加者対応
Do (実行)	【当日】 ④ 配信	<ul style="list-style-type: none"> ● 配信手法、使用するサービスの決定、使用機材の準備 ● 運営方法の検討および実施運営、参加者対応などのスタッフの役割分担 ● 進行内容をまとめた進行表や運営マニュアルの作成 ● 告知内容や参加方法を検討し告知ページを作成 ● 入金チェックの体制づくりや入金方法の検討(参加費有料の場合)
	【実施後】 ⑤ 事後フォロー	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページなどに告知原稿を掲載し参加募集を開始 ● 申込締切~抽選作業~参加者に案内メールを送付 ● 参加者のITリテラシーに合わせて事務局対応。事前体験会なども検討 ● リマインドメールの送付(例:1週間前・3日前・前日など) ● 入金チェック(参加費有料の場合)
Check (評価) Act (改善)		<ul style="list-style-type: none"> ● 会場設営、機材セッティング、リハーサル ● 事務局による参加者対応、チャット活用など ● 役割分担に従い実施運営 出演者、進行管理、参加者対応、オンライン会議システムのホスト、カメラマンなど
		<ul style="list-style-type: none"> ● オンライン会議システムの機能を使用した録画や記録を作成 ● 参加者へのフォローアップメールを送付 ● 出演者・講師への謝礼の支払い ● 参加者へのアンケートを行い、評価(楽しさ・理解度・満足度等)を聞く ● 食育活動の成果を検証し、次回の活動へと反映させる

概要
デジタル食育の

オンライン食育イベント

食育動画

SNSを活用した食育活動

アプリを活用した食育活動

デジタル食育のPDCAサイクル

「オンライン食育イベント」実証体験レポート

デジタル技術を活用した「オンライン食育イベント」の実証として、3団体の企画協力によりオンライン親子料理教室を企画・実施。配信当日はオンライン会議システム(今回の実証ではZoom)を使用して、キッチンスタジオおよび農園から配信を行った。

■企画協力：

- ・キューピー株式会社
- ・ソムリエファーム ～わたなべさんちの野菜たち～
- ・特定非営利活動法人日本成人病予防協会

※オブザーバーとしてパパ料理研究家の滝村雅晴氏に協力を要請

■スケジュール：

- ・約2ヶ月前（12/15）第1回企画ミーティング(開催概要決定)
- ・約1ヶ月前（1/6）第2回企画ミーティング(告知開始)
- ・約3週間前（1/20）応募締め切り
- ・10日前（2/1）第3回企画ミーティング(準備確認)
- ・2日前（2/9）事前リハーサル
- ・当日（2/11）配信

■タイトル：

旬の野菜で
サンドイッチとポトフを作ろう！
～オンライン親子クッキング～



■使用機材：

キューピー「マヨテラス」側：
スマートフォン2台(料理教室配信用)・PC3台(ホスト用)
ソムリエファーム側：
スマートフォン1台(農園中継配信用)

■対象：

6歳以上のお子様と保護者
※お子様の人数については制限なし

■告知方法：

企画協力3団体のホームページ、ブログ、SNSなどで告知

■応募方法：

オンライン入力フォーム(今回の実証ではグーグルフォームを使用)に記入の上応募

■定員・応募数：

定員10組のところ13組応募
(3団体にて協議の上、全員当選とした) →当日参加は12組

■参加費：

無料(発送する食材以外は各自ご準備いただく)

■配信日時：

2022年2月11日(金) 10:30～12:30

■配信場所：

キューピー「マヨテラス」キッチンスタジオ(東京都調布市)
ソムリエファーム(千葉県山武市)

配信録画(全体 約1時間51分)

<https://www.youtube.com/watch?v=gb23BwJw3JM>
オンライン親子クッキング全体の記録動画です。



全体

配信録画(前編 約22分)

<https://www.youtube.com/watch?v=4xFE7CB8B3U>
「施設紹介」および「ソムリエファーム」からの中継部分です。



前編

配信録画(後編 約1時間29分)

<https://www.youtube.com/watch?v=T3KbsF1qozs>
料理教室の実施部分の動画です。



後編

企画 準備 段階

- ライブ配信手法の決定、使用するサービスの決定
- 機材準備、運営方法の検討および役割分担
- 進行内容をまとめた進行表や運営マニュアルの作成
- 告知内容や参加方法を検討し告知ページを作成

企画協力：

- ・ キューピー株式会社
- ・ ソムリエファーム
～わたなべさんちの野菜たち～
- ・ 特定非営利活動法人日本成人病予防協会

※ 50音順・敬称略

実証として親子オンライン料理教室を企画・実施。キューピーは全体統括・会場手配を行い、日本成人病予防協会はレシピ開発と料理教室の講師を担当、ソムリエファーム～わたなべさんちの野菜たち～は旬の野菜の提供を行った。

開催概要の検討

課題・工夫した点等：

- ★ オンライン会議システムを選定するポイントとして**参加者の利便性を考慮し、利用率の高いシステムとしてZoomを採用した。**
- ★ 農園にて使用できそうな野菜を検討しながら、その場で試作等を行い使用する野菜を決定。**リモートだけではコミュニケーションが薄くなるので、対面で会話をすることが重要**と感じた。



(注) オンライン会議システムのホストが他のユーザーとホスト権限を共有することで、参加者の管理や録画など、ミーティングの管理を共同で行うことができる機能。

レシピ開発

課題・工夫した点等：

- ★ 「レシピの食材選び」や「告知用写真撮影」も兼ねてソムリエファームにて試作。農園で**野菜の試食や収穫を行うことで、色合いや味の確認**ができた。



- ★ 2回目の試作としてZoom配信形式での試作を実施。野菜の切り方・味付けも本番を想定して行い、**料理時間の測定も行った。また、オンラインで自分の手元が参加者からどう見えるかを確認した。**



13

運営計画

課題・工夫した点等：

- ★ **子供が参加するため、実施時間は1時間半～2時間が上限**だと考えプログラムを構成した。
- ★ Zoomで共同ホスト^(注)を設定し、**ホスト側のオペレーションを参加者対応と出演者運営(スポットライトなど)に分けて2名体制で対応し、操作が1名に集中しないようにした。**共同ホストを設定することで、Zoomのホスト側がダウンするリスクを回避する効果もあった。



各章のタイトルをクリックするとその章の最初のページにジャンプします

告知 段階

- ホームページなどに告知原稿を掲載し参加募集を開始
- 申込締切～抽選作業～参加者に案内メールを送付
- 参加者のリテラシーに合わせて事務局対応。
- リマインドメール送付（1週間前・3日前・前日など）

企画協力：

- ・ キューピー株式会社
- ・ ソムリエファーム
- ～わたなべさんちの野菜たち～
- ・ 特定非営利活動法人日本成人病予防協会

※ 50音順・敬称略

レシピ開発した際に写真撮影を行い、告知原稿を作成し各団体にて告知活動を行った。告知チラシにQRコードを掲載し、
グーグルフォームにより作成した応募フォームに誘導して参加希望者により必要事項を記入していただいた。

告知内容・手法

課題・工夫した点等：

- ★ 見た人への**インパクトを考え、野菜の画像を大きく使ったビジュアルを作成し**、3団体にて告知を行った。

- ★ 食育の取組を子供から大人まで**わかりやすく伝えるため、食育ピクトグラムを使用した。**



告知手法

- ◆ キューピー：オフィシャルブログ
- ◆ ソムリエファーム：ホームページ・LINE・来訪者に告知
- ◆ 日本成人病予防協会：Instagram・Twitter

応募方法の検討

課題・工夫した点等：

- ★ **初心者でも使いやすいオンライン入力フォーム(グーグルフォーム)を活用**して応募フォームを作成した。今回は定員10組のため手作業でリスト作成を行った。



■ 申込ページ
(グーグルフォームにより作成)

事務局運営について

課題・工夫した点等：

- ★ 個人情報取得方針も異なる**複数の団体が協力しながら実施するため、個人情報の取扱い方法の意思決定が難しかった。**事務局は外部に設置し個人情報を取得しない体制とした。
- ★ **参加者への野菜の発送業務があり、事前に配送希望日時を聞いていたが、実施前日の降雪予報の影響で宅配便の遅延することも考慮し、急遽、食材を届けるタイミングを早める調整を行った。**



配信 段階

- 会場設営、機材セッティング、リハーサル
- 事務局による参加者対応、チャット活用など
- 役割分担に従い実施運営
出演者、進行管理、参加者対応、オンライン会議システムホスト、カメラマンなど

企画協力：

- ・ キューピー株式会社
- ・ ソムリエファーム
～わたなべさんちの野菜たち～
- ・ 特定非営利活動法人日本成人病予防協会

※ 50音順・敬称略

配信当日は、キューピーのコミュニケーション施設「マヨテラス」(東京都調布市)のキッチンスタジオおよびソムリエファーム(千葉県山武市)からオンライン親子クッキング教室の配信を行った。

マヨテラスからの配信

課題・工夫した点等：

- ★ リハーサルごとに気づくことも多いため、**リハーサルを3～4回程度は行うべき**だった。(現場リハーサルは事前と当日の2回実施)
- ★ リハーサルの段階ではキューピーの施設紹介を最後に行う予定だったが、**リハーサルを行いストーリーがわかりづらかったため、施設紹介を冒頭に変更**した。
- ★ オンラインで子供向けの料理教室は初めてだったため、**参加者と調理のペースを揃えるのが難しかった**。



使用機材

・スマートフォン2台・PC3台(ホスト用)

ソムリエファーム農園から中継

課題・工夫した点等：

- ★ ソムリエファームからの**中継で、電波状況に不安定な部分がある**ため、画面がフリーズしても進行できるようなるべく音声でのレクチャーを心がけた。
- ★ ソムリエファームの通信が途切れた際のバックアップとして、**中継部分を事前に動画撮影しておき、万が一の場合には動画共有できるよう備えた**。



使用機材

・スマートフォン1台

参加者対応について

課題・工夫した点等：

- ★ 15分前からZoomを立ち上げていたが、**ほとんどの来場者は開始時間直前の入室**となり、参加者への電話連絡のタイミングが難しかった。



- ★ 参加者を呼びかけやすいよう**ニックネームをZoomに記入していただく旨をチャットに記載したが伝わらなかった**ため、事務局によりニックネームに変更した。告知段階でなぜニックネームが必要かを記載しておいた方がよかった。

運営マニュアル制作事例(オンライン食育イベント実証)

開催概要	
イベントタイトル	旬の野菜でサンドイッチとポトフを作ろう！ ～オンライン親子クッキング～
会場	マヨテラス キッチン 東京都調布市仙川町2-5-7 仙川キューポート内
日程	2022年2月11日(金) 10:30～12:30
実施概要	ソムリエファーム～わたなべさん家の野菜たち～の採れたて野菜を使ってマヨテラス キッチンよりZoomでオンライン親子料理教室を実施
ターゲット	小学生とその保護者
定員	10組20名(予定) ⇒ 応募13組だったため全員当選
協賛・開催協力	農林水産省の委託事業により ソムリエファーム～わたなべさん家の野菜たち～ NPO法人成人病予防協会 キューピー株式会社
事前告知	ソムリエファーム～わたなべさん家の野菜たち～ ホームページ 日本成人病予防協会 特定非営利活動法人 Twitter & Instagram キューピーホームページ オフィシャルブログ

※参考事例

タイムテーブル						
開始	終了	LAP	進行内容	登壇者	Zoomホスト① 登壇者対応	Zoomホスト② 参加者対応
8:30			会場入り～経営(マヨテラス/ソムリエファーム)	全員	セッティング	セッティング
9:00	9:45	45	リハーサル	全員	リハーサル	リハーサル
10:15		15	スタンバイ タイトルスライド&BGM	全員	待機BGMオン 入室許可 マイクミュート タイトルスライド 待機BGMオフ	入室許可 マイクミュート
10:30	10:30		前フリ あいさつ	上田	スポットライト:上田	ビデオオフ マイクミュート
10:32	10:35	3	導入(企画主旨など)	上田	スポットライト:上田	
10:35	10:40		マヨテラスから中継 マヨテラス見字	上田	スポットライト:上田	ビデオオン マイクミュート
10:40	10:55	15	ソムリエファームより中継・野菜の紹介など (スライド無)	渡辺	スポットライト:渡辺	
10:55	10:52	2	料理教室スタート 講師紹介	上田 白井	スポットライト:上田 スポットライト:白井	
10:52	10:57	5	野菜の栄養素など紹介(スライド無)	白井	スポットライト:白井	
10:57	12:10	30	レシピ紹介(スライド有無確認) 料理の手順説明 ご参加のみなさまと調理開始 料理教室終了	白井	スポットライト:白井 調理開始後は 随時手元と切り替え	料理教室時は 質問者からの マイクミュート解除補助 (スライド操作) ビデオオン マイクオン
12:10	12:20	10	まとめ(感想・質疑応答)	進行:上田 回答:渡辺 回答:白井	スポットライト:上田 スポットライト:渡辺 スポットライト:白井	質問者スポットライト マイクミュート解除補助
12:20	12:25	3	事務局からのご案内(アンケートのお願ひ)	上田	スポットライト:上田	
12:25	12:30		終了タイトルスライド&BGM オンライン終了		タイトルスライド BGM	退室確認
12:30	13:30		終了次頁片付け	全員		

※参考事例

企画制作上のポイント

- ◆実施日時:
親子が参加しやすく、作った料理を家族で食べることができる休日のランチタイムに設定。
- ◆定員:
オンライン会議システムで参加者全員の顔が見え、コミュニケーションを取りやすい組数として定員を10組に設定。
- ◆タイトル:
親子で参加できるイベントであることを打ち出し、何が作れるのかわかりやすく表示した。

企画制作上のポイント

- ◆全体進行:
全体の進行の流れと役割分担、登場人物の動きがわかるよう進行内容を一覧表にまとめたタイムテーブル(進行表)を作成。
- ◆構成面:
イベントが単調にならないよう、キューピーの施設紹介や農園からの中継を交えて進行するよう工夫した。
- ◆運営面:
オンライン会議システムのホスト担当に対応が一極集中しないよう、参加者対応と出演者対応として役割分担を行い2名体制で実施。

運営マニュアル制作事例(オンライン食育イベント実証)

レシピ・参加者側の準備物リスト

当日のメニュー「萌断サンドイッチ」と「野菜ゴロゴロポトフ」

準備していただく食材	✓	準備していただく調理器具 他	✓
胡椒…適量		包丁	
しょうゆ…小さじ1/2		まな板	
食パン…4枚(8枚切)		ピーラー	
ツナ缶…2缶		ボウル 2つ	
ウインナー…一袋		おたま	
水…800ml		鍋	
		小さじ	
		大さじ	
		バット(お皿でも可)	
		皿(サンドイッチ・スープ用)	
		竹串(箸でも可)	
		ラップ	
		キッチンペーパー	

前日までに届くもの



▲新鮮野菜(イメージ)



▲調味料

※参考事例

企画制作上のポイント

- ◆参加者の準備物：
料理教室で参加者に準備していただく食材や道具類をリストアップし、参加者に事前送付。サイズや数量などなるべく具体的に書き出しておけば当日の参加者運営がスムーズ。
- ◆事前準備スライド：
上記のリストをもとに準備物スライドを作成し、イベント開始前のタイピングで参加者に準備物のチェックを促した。

事前準備について		
野菜は洗って水気をふき取っておいてください。		
野菜ごころポトフ	萌断サンドイッチ	調理器具
★カレーポトフ 2枚	★食パン 4枚	まな板
★アレルチ 2枚	★食パン 4枚	ピーラー
★カレー(大袋) 2枚	★食パン(大袋) 4枚	ボウル
★カレー(小袋) 2枚	★食パン(小袋) 4枚	おたま
★カレー(大袋) 2枚	★食パン(大袋) 4枚	鍋
★カレー(小袋) 2枚	★食パン(小袋) 4枚	鍋(スーパ)
★カレー(大袋) 2枚	★食パン(大袋) 4枚	調理スポンジ(大)
★カレー(小袋) 2枚	★食パン(小袋) 4枚	調理スポンジ(小)
★カレー(大袋) 2枚	★食パン(大袋) 4枚	ラップ(サンドイッチ用)
★カレー(小袋) 2枚	★食パン(小袋) 4枚	ラップ(ポトフ用)
★カレー(大袋) 2枚	★食パン(大袋) 4枚	竹串(箸でも可)
★カレー(小袋) 2枚	★食パン(小袋) 4枚	キッチンペーパー

主催者側の準備物リスト ①

【配信機材 他】

ソムリエファーム		マヨテラス キッチン	
iPad(docomo端末)	1台	ノートPC(①司会、②ホスト、③チャット対応、④ウェブカメラ接続用、⑤講師確認用)	5台
テザリング iPhone (au端末)	1式	ウェブカメラ(講師全体用)	1台
通信環境 Wi-Fi	1式	iPhone(手元用)	1台
ピンマイク	1個	三脚(大・小)	各1台
		ジンバル(マヨテラス見学用)	1台
		ライト	2機
		延長コード	3~4本
		モニター(関係者視聴用)	1台
		メールアカウント(参加者連絡用)	1式
		Zoomアカウント	1式
		調理器具	1式
		食材	1式

※参考事例

企画制作上のポイント

- ◆主催者側の準備物：
実施に際して準備もれのないよう、配信に必要な機材をリストアップ。手元用と講師用の2つスマホを準備した。また、スマホの配置により暗くなる部分を補うためのライトを準備した。
- ◆農園側(中継)の準備物：
通信環境が不安定になることも想定し、2種類の通信キャリア(ドコモ・au)のスマホと現地のWi-Fiのうち、最も通信速度の速く安定しているものを選んで配信を行った。



各章のタイトルをクリックするとその章の最初のページにジャンプします

運営マニュアル制作事例(オンライン食育イベント実証)

参加者募集 告知

旬の新鮮野菜がご自宅に届きます！

10組限定

旬の野菜でサンドイッチとポトフを作ろう！
～オンライン親子クッキング～

スーパーでは見かけない珍しい野菜が届くかも！

▲新鮮野菜 (イメージ) ※生育状況によって変更
▲野菜ごろごろポトフ
▲萌え断サンドイッチ

日時: 2022年2月11日(金) 10:30~12:30
定員: 10組 (6歳以上のお子様と保護者)
※応募多数の場合は抽選のうえ当選者におのみメールでご連絡します
参加費: 無料 ※発送する食材以外は各自ご準備ください
配信方法: オンライン会議システム「Zoom」
※お手持ちのパソコン、タブレット、スマートフォン等に「Zoom」アプリを事前にダウンロードください
※通信料はお客様のご負担です
応募方法: 右の二次元コードよりお申し込みください ⇒ 応募締切 2022年1月20日(木) 24時

農林水産省の委託事業により実施
企画協力: ソムリエファーム～わたなべさん家の野菜たち～
NPO法人日本成人病予防協会
キュービー株式会社

【告知方法】

ソムリエファーム ホームページ
日本成人病予防協会 Twitter & Instagram
キュービー(株)オフィシャルブログ

【告知～イベント開催までの流れ】

- 1/11～募集開始 (イベント開催1ヶ月前)
- ↓
- 1/20 応募締切 (約3週間前)
- ↓
- 1/21～当選通知 & 送付物到着希望日確認
- ↓
- 1/31 送付物到着希望日 受付
- ↓
- 2/7～ 送付物発送
- ↓
- 2/11 イベント本番

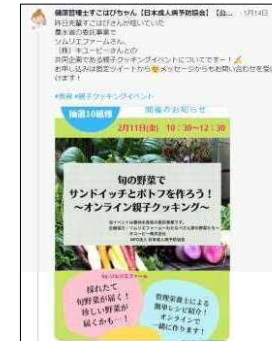
企画制作上のポイント

- ◆告知物の制作:
オンライン親子クッキングで作る料理や使用する野菜を大きめのビジュアルと最小限のテキストで明確にした。また、オンライン配信方法についても、使用する会議システム(Zoom)について明記した。
- ◆告知方法:
企画協力3団体により短期間での拡散を狙い、オンライン上での告知を行うこととし、各団体が今回のイベントを告知できる、ホームページやSNSを活用して告知を行った。

ソムリエファーム
Facebook



日本成人病予防協会
Twitter



キュービー
ブログ



- ◆事務局作業:
応募受付の際には取得する個人情報には必要最低限にとどめ、参加者から食材を送るための住所などの情報を取得した。当選者に食材をお届けする希望日程を聞き、前日までに到着するスケジュールとした。募集期間は10日間とした。

※参考事例

概要
デジタル食育の

オンライン
食育イベント

食育
動画

SNSを
活用した
食育活動

アプリを
活用した
食育活動

「デジタル食育」の
PDCAサイクル

運営マニュアル制作事例(オンライン食育イベント実証)

応募フォーム(-googleフォーム)

※スマートフォンで見るとも想定し、改行せずに作成

旬の野菜でサンドイッチとポトフを作ろう！
～オンライン親子クッキング～

【日時】2022年2月11日(金)
10:30～12:30(終了時刻は進行状況によって多少前後します)

【定員】10組(6歳以上のお子様と保護者)
※保護者のご親善で弟妹も参加可能ですが十分な安全確保をお願いします。
※事前申し込みが必要です。定員超過の場合 厳正なる抽選のうえ当選者のみご連絡します。

【参加費】 無料
※発送する食材以外は各自ご準備ください。

【配信方法】 オンライン会議システム「Zoom」
※お手持ちのパソコン、タブレット、スマートフォン等に事前にZoomアプリをダウンロードください(通信状況の良い環境でご参加ください)。
※通信料はお客様の負担です。

【配信場所】 マヨテラスキッチン (東京都調布市仙川町)

【内容】

- 第1部 旬の野菜について知ろう！
食育体験ができる農家「ソムリエファーム」(千葉県山武市)の渡辺さんより旬の野菜がいっぱいの畑をご案内します。前日までソムリエファームの野菜がご自宅に届きます！
- 第2部 採れたて野菜を使ったかんたんレシピ
ご自宅に届いた野菜を使って管理栄養士白井さんがかんたんレシピをご紹介します。みなさんと一緒に調理します。
- 第3部 マヨテラスよりマヨネーズのみみつをご紹介します！

【準備物】 送付する材料(野菜や調味料)以外の材料
※事前に当選者へご連絡いたします。

※当日は録画をさせていただきます。録画映像や写真について、後日ホームページや発行物に掲載させていただきますので、あらかじめご了承ください。

【個人情報取り扱いについて】
ご提供いただいた個人情報は、本企画に関わる利用目的及び食育活動に関するアンケート調査のみに利用いたします(アンケートは企画終了後にメールで送信いたします)。

当選者情報入力ページ(-googleフォーム)

当選者様情報入力

この度は「旬の野菜でサンドイッチとポトフを作ろう！～オンライン親子クッキング～」にご参加いただき、ありがとうございます。
食材の発送のため、下記ご回答をお願いいたします。
【個人情報の取り扱いについて】
ご提供いただいた個人情報は、本企画に関わる利用目的のみに利用いたします。

メールアドレス*

お名前*

郵便番号*

住所*

電話番号*

お受け取り可能な日時
※下記の中から一つだけお選びください。

	午前中	14時-16時	16時-18時	18時-20時	20時-21時
2月8日(火)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2月9日(水)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2月10日(木)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ニックネーム*
当日、お受け取る際にご利用します。当日はニックネームでZoomの入室をお願いします。

※参考事例

企画制作上のポイント

- ◆ 応募フォームの活用：
googleフォームを活用し応募フォームを作成。入力した情報を応募者に返信できる設定として応募者が入力情報を確認できるようにした。
- ◆ 開催概要の情報提供：
当初の告知では伝えられない詳細情報を明記した。特に、参加資格やオンライン参加の際の注意点は重要。
- ◆ 応募フォーム入力情報：
当初取得する個人情報は必要最低限にとどめた。氏名、メールアドレス、電話番号、大人の参加人数、子供の参加人数と学年などを取得。

※参考事例

企画制作上のポイント

- ◆ 当選者通知：
事務局メールで当選通知を送付。メールの件名に【当選】を明記し、メールを開かなくてもわかるようにした。メール本文からテキストリンクで当選者情報の入力フォームに誘導。
- ◆ 当選者情報の入力フォーム：
食材を送付するため、当選者の住所情報を取得。イベント中にコミュニケーションをとるためのニックネームも入力いただいた。
- ◆ 食材の受取希望日時：
事前に食材の受取希望日時を聞き、時間帯指定便で発送。

運営マニュアル制作事例(オンライン食育イベント実証)

～野菜ごごろポトフ～

(3～4人分・野菜 約300g)

- ・カーボネロ・・・3枚
- ・アレック・・・2株
- ・カラーニンジン(赤)・・・1本
- ・カラーニンジン(白)・・・1本
- ・スイスチャード・・・3枚
- ・ウィンナー・・・1袋(量はお好みで)
- ・和風スープの素・・・2人前×2

★胡椒・・・少々

★水・・・800ml

※調味料(★)はお好みで!

※下線の付いている食材・調味料は事前にお送りします。

※野菜はあらかじめ洗い、水気をふき取っておいてください。



カーボネロ アレック カラーニンジン スイスチャード



<つくり方>

- ① カラーニンジンを小さめの乱切りにする
- ② カラーニンジンと水を鍋に入れ中火～強火にかける(15分)
- ③ カーボネロ・アレック・スイスチャードを**食べやすい大きさに切る**
(手でちぎれるものはちぎってもOK)
- ④ カラーニンジンに火が通ったら、カーボネロ・アレック・スイスチャード、ウィンナーを入れ弱火～中火で煮込む(5分)
- ⑤ 和風スープの素を入れ弱火～中火で煮込む(3分)
- ⑥ 器に盛り付け、お好みで胡椒をふる

～完成～

～萌え断サンドイッチ～

(3～4人分・野菜 約300g)

- ・サラダ春菊・・・1株
- ・赤水菜・・・2株
- ・カラーニンジン(黄色)・・・1本
- ・カラーニンジン(オレンジ)・・・1本
- ・ルッコラ・・・1株
- ・からし菜・・・1株
- ・食パン・・・4枚(8枚切りがおすすめ)
- ・ツナ缶・・・2缶
- ★マヨネーズ・・・大さじ3
- ★胡椒・・・適量
- ★しょうゆ・・・小さじ1

※調味料(★)はお好みで!

※下線の付いている食材・調味料は事前にお送りします。

※野菜はあらかじめ洗い、水気をふき取っておいてください。



カラーニンジン 赤水菜 サラダ春菊 ルッコラ からし菜



<つくり方>

- ① サラダ春菊をこまかく切り、ボウルに移す
- ② ①に汁気を切ったツナとマヨネーズ・胡椒・しょうゆを入れ、よく混ぜる
- ③ カラーニンジンをピーラーで薄くスライスし、それぞれ半分にしておく
- ④ 赤水菜を三等分に切り、半量に分けておく
- ⑤ ルッコラを半分に切る、半量に分けておく
- ⑥ からし菜を半分に切、半量に分けておく
- ⑦ ラップを大きめに切り、まな板の上に広げ食パン一枚のせ、マヨネーズ(分量外)を適量塗る
- ⑧ ②であえたツナを食パンに1/4乗せる
- ⑨ ツナの上に赤水菜→ニンジン(2色)→ルッコラ→からし菜の順に半量ずつのせる
- ⑩ 最後にツナの1/4をのせ、マヨネーズ(分量外)を塗ったパンをかぶせる
- ⑪ ラップでしっかりとつつむ
- ⑫ 「萌え断」になるように向きに注意してカットし、お皿に盛り付ける

～完成～

<参加者の方にご用意いただくもの>

- ・胡椒・・・適量
 - ・しょうゆ・・・小さじ1
 - ・食パン・・・4枚(8枚切りがおすすめ)
 - ・ツナ缶・・・2缶
 - ・ウィンナー・・・1袋(量はお好みで)
 - ・水・・・800ml
- ◇包丁
 - ◇まな板
 - ◇ピーラー(サンドイッチのニンジンスライス用)
 - ◇ボウル×2(ツナをあえる用・野菜を取り分ける用)
 - ◇お箸(混ぜる用)
 - ◇おたま(スープをよそう用)
 - ◇鍋(スープ用)
 - ◇小さじスプーン(醤油の計量) ※なくてもOK
 - ◇大さじスプーン(マヨネーズの計量) ※なくてもOK
 - ◇ラップ(サンドイッチを包む)
 - ◇盛り付け用のお皿(サンドイッチ・スープ用)
 - ◇ペーパー(野菜の水気をふき取る用)
 - ◇竹串(スープのニンジン火の通りを確認する用) ※お箸でもOK

※参考事例

企画制作上のポイント

◆レシピの作成：

講師と参加者が同時進行で調理できる手順で時間内に完成できるレシピを作成。ポトフの調理中にサンドイッチを作る手順となるよう工夫した。

◆レシピの事前共有：

参加者の準備に役立ててもらうため、当選通知にレシピのPDFファイルを添付して配布。当日手元で見られるよう、印刷して配送物にも同梱した。

よくあるトラブルや制作上の留意点



よくあるトラブル

通信環境等の問題で、オンライン会議システムの画面がフリーズしてしまう 音声途切れてしまう、接続が切れてしまう!?

- 微弱なWi-Fi環境を使用している場合、画面がカクカクしたりオンライン会議システムへの接続が切れたりすることがあります。トラブルを未然に防止するために、事前に配信テストを行いましょう。
- 推奨するブラウザやネットワーク環境がある場合は、事前に参加者へ「推奨する環境」を伝えておきましょう。
- オンライン会議システムを更新していないと様々な機能に不具合が発生したり、最悪の場合はオンライン会議に参加することができなくなる場合もありますので注意が必要です。参加者側でオンライン会議システムをインストールされている場合には、最新版に更新してもらうようにしましょう。
- オンライン会議システムに接続する端末で不要なブラウザが開かれていると、オンライン会議システムの動作が重くなる場合があります。オンライン会議システムを開く前にいらぬブラウザを閉じましょう。
- 接続している機器のバッテリーが切れてしまい接続が切れてしまうことがあります。PCやタブレットなどの端末は常に電源に接続しましょう。



よくあるトラブル

参加登録方法がわからない、参加者がオンライン会議システムに慣れておらず 接続できない!?

- オンライン会議システムに慣れていない方を対象とした場合には、主催者側が事務局を設置し対応できるよう準備しておくのもデジタル食育への対応といえます。「参加登録の方法がわからない」「オンライン会議システムへの参加ができない」といったトラブルに備えて、事前講習や電話によるサポートなどを行いましょう。



よくあるトラブル

運営側のオンライン会議システムが落ちてしまう!?

- 共同ホストを設定して複数のホストでログインしていれば、万が一、ホスト側がダウンしてもイベント全体が落ちてしまう心配がなく安心です。オンラインイベントやセミナーなど大人数でオンライン会議システムを使用する際には、必ず共同ホストを設定するようにしましょう。

よくあるトラブルや制作上の留意点



よくあるトラブル

オンライン食育イベントでは参加者が離脱しやすい!?

- 大人数を対象とするセミナーや講演会などは参加しやすい一方で簡単に離脱しやすいのがオンラインイベントの特徴です。オンライン会議システムで一方向的に話している時間が長くなると、参加者は飽きてしまう傾向が強まります。
- 時間配分を考え「動画」や「スライド」を使ったり休憩を入れる等、メリハリのあるプログラムを設計しましょう。参加者を飽きさせない工夫として、投票機能を使う、参加型のコンテンツを盛り込むなども効果的です。



よくあるトラブル

参加者からの反応を感じにくく、登壇者の熱量が上がらない!?

- 「対面で行うイベント」では参加者の反応が直接伝わってきますが、「オンライン食育イベント」では参加者の反応がわかりづらく進行しづらいと感じやすいです。イベントスタート時には参加者全員のカメラをONにして顔出しをして一体感を高めたり、少人数での開催の場合には参加者により自己紹介してもらうなど、参加者との交流を図り参加者とのコミュニケーションを図ることが大切です。
- オンライン食育イベントの課題として、参加者同士の「交流のしにくさ」があります。「オンライン食育イベント」で参加者同士のコミュニケーションを増やすには、ブレイクアウトセッション^(注)を設定するなど計画的にコミュニケーションできるよう設計する必要があります。



よくあるトラブル

司会者の役割が多く進行が滞ってしまう!?

- 「オンライン食育イベント」を運営する場合、司会者や登壇者が様々な役割を掛けもちするとシステムのコントロールで手一杯となり司会進行に集中できなくなってしまいます。各スタッフの役割を明確にして、不足のないようスタッフ配置を行うことが大切です。
- 進行台本をしっかりと作成し、「スライド」や「動画」の挿入や「効果音・BGM」はどのタイミングで入れるのか、「スポットライト」の操作はだれが行うのか事前に決めておき、事前にリハーサルを行うことが必須となります。
- 配信当日は外部から雑音が入らないように注意しましょう。また、マイクがハウリングすると進行できなくなりますので同じ空間で複数の機器のマイクをONにしないよう注意しましょう。

(注) 少人数に分かれてグループミーティングを行えるオンライン会議システムの機能

オンライン牧場体験教室

メリット①
「新たな日常」
の中で食育
を推進

メリット⑤
楽しみながら
食育を
推進できる

活動主体：牧場ログハウス ちちぶ路 吉田牧場(埼玉県)

■ 実施背景

体験教室を始めたきっかけは、小学校の教諭から学校給食で牛乳を残す子供が増えていると聞いたこと。「給食で牛乳を残されるのは忍びない。牛がどうやって乳を出しているのか、実際に牛と触れ合って子供たちに知ってもらえれば大事に飲んでもらえるかもしれない」と思い、20年ほど前に体験教室を始めた。

最近ではコロナ禍の影響もあり「新たな日常」の中、スマホ1台で牧場と東京の小学校とをつないだオンライン牧場体験教室を推進している。

■ 実施概要

新型コロナウイルスの問題と牛の伝染病の危険性もあり、スマホ1台で小学校とつないだ食育を行っている。牧場と学校をつないで牧場の全景を見てもらいながら、前日に生まれた牛を見てもらったり、画面越しに子牛に乳をあげているところを見せたりする活動を行っている。

オンラインでも教室で体験できる内容として、実際に子供たちの手で触れたり牧場の匂いを嗅いだりしてもらえるよう牛のえさを事前に学校に宅配で送っておき、牛がどんなものを食べているかを感じてもらい楽しみながら参加できるような工夫もしている。

体験教室ではお産があつて、母牛がいて、子牛のために牛乳を出してくれる。それをいただいて飲んでいることが、最後に分かるような流れを心掛けている。

給食で飲む牛乳は冷たいけれど、母乳の搾りたては温かい。母牛は、本当は子牛に母乳をあげたいのかも。でも、みんなも飲みたいよね。だから『ありがとう。いただきます』と言って飲んでねと、食と命の大切さを子供たちに伝えている。



● 写真提供：秩父経済新聞

デジタル食育の
オンライン
食育イベント
食育動画
SNSを活用した
食育活動
アプリを活用した
食育活動
「デジタル食育」の
P.D.C.A.サイクル

オンライン料理教室

活動主体：ビストロパパ(東京都)

■ 実施背景

男性の家事参画、健康経営、働き方改革、男女共同参画などをリアルな活動で進めてきたが、それらの活動が食育活動となりつながっていった。2020年に入りコロナ禍となり、キッチンスタジオでの料理教室ができなくなったためオンラインの料理教室にシフトして実施している。

■ 実施概要

2020年4月からインターネットを使った料理教室を開始、毎週末に実施しており年間100回以上開催している。自宅のキッチンをスタジオにして配信しているので、配信スタジオへの移動時間が必要ないのがメリットとなっている。

オンライン料理教室は無料で行っている。開催日程は土・日曜日がほとんどで、ランチタイムは10:30~12:00、ディナータイムは16:30~18:00の時間帯に開催している。

サービスとしては、Zoomを活用しリアルタイムで参加者とつながりながら、同時にYouTubeを活用してライブ配信も行っている。参加者の中にはZoomに入れない人が出てくるが、その場合にはYouTubeを案内して見ていただいている。YouTubeチャンネルを開設して全部の料理教室を掲載し、高画質な動画で視聴可能としている。

リアルの料理教室では家族と一緒に食べるできないことが多いが、オンライン料理教室の場合、家族と一緒に食べるのができるのがメリットとなる。また、オンライン料理教室の参加者と普段つながることのできない生産者やメーカーとをつなげられることも意義深い。

メリット①
「新たな日常」
の中で食育
を推進

メリット②
どこからでも
食育に
取り組める

メリット⑥
食育情報の
リソースを
活用できる



● 資料提供：ビストロパパ

概要
デジタル食育の

オンライン
食育イベント

食育動画

SNSを活用した
食育活動

アプリを活用した
食育活動

「デジタル食育」の
PDCAサイクル

オンライン食育セミナー

メリット①
「新たな日常」
の中で食育
を推進

メリット⑥
食育情報の
リソースを
活用できる

活動主体：ダノン健康栄養財団(東京都)

■ 実施背景

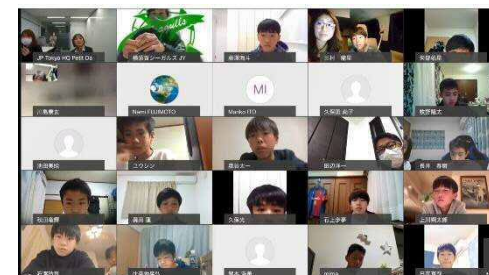
コロナ禍でリアルに対面セミナーができない場合(新たな日常)や離れた場所からのセミナー配信にオンラインセミナーを活用している。セミナー申込にあたり複数のパターンで選択肢を与え、ニーズにマッチした形式を選んでもえるようにしている。

■ 実施概要

学校・スポーツ団体等向けにZoom、Google Meet、Webex等のオンライン会議システムを使い、講師によりスライド共有しながらオンライン食育セミナーを実施。プログラムをインストールせず、パソコンのブラウザから参加できるシステムは参加ハードルが下がって便利。また、初めてオンライン会議システムを使用する参加者には、テストサイトを設定しリハーサルに参加していただくことが大切。

学校により通信環境が整っていない場合もあるのでDVDレンタルなど設ける必要があるが、DVDの場合、劣化や破損などの問題がある。最近では限定公開の動画配信 (YouTube) の人気が高い。

オンラインフォーラムをライブ配信後に見逃し配信する際には、ミスがあった部分を動画編集の上配信できるので安全。公表している期間が長い場合は、編集にはより厳しいチェックが必要となる。事後に行う参加者アンケートはグーグルフォーム等を利用して作成すると便利。また、オンライン上で入力してもらうことで集計入力の手間が省け、データ集計・分析が容易である。



● 資料提供：ダノン健康栄養財団

概要
デジタル食育の

オンライン
食育イベント

食育
動画

SNSを活用した
食育活動

アプリを活用した
食育活動

「デジタル食育」の
PDCAサイクル

学校給食における「デジタル化に対応した食育」

メリット①
「新たな日常」
の中で食育
を推進

メリット⑤
楽しみながら
食育を
推進できる

メリット⑥
食育情報の
リソースを
活用できる

活動主体：調布市、調布市教育委員会、NTT東日本、NTTアグリテクノロジー（東京都）

■ 実施背景

コロナ禍におけるデジタル技術を活用した取組の急速な進展に伴い、調布市では、市内の企業・大学等と共同でスマートシティの実現を目指す「調布スマートシティ協議会」を2021年6月に設立。この協議会にはNTT東日本も参画しており、デジタル技術を活用した地域の持続的成長につながる取組をNTTアグリテクノロジーと共同で進めることとした。

■ 実施概要

調布市立の小学校では、市内農業経営者と連携し市内農産物を活用した給食の提供を通じ、地産地消を進める「S & A（スクール&アグリカルチャー）」の取組や、国の「第4次食育推進基本計画」における、3つの重点事項の1つに掲げられた「新たな日常」やデジタル化に対応するため、タブレット等を活用した食育の推進に取り組んでいる。

こうした中、NTT東日本とNTTアグリテクノロジーでは、調布市内に立地するNTT e-cityラボ（NTT中央研修センター内）のローカル5G実証ハウスにて、東京都とローカル5Gを活用した新しい農業の実証試験を進めており、栽培されるトマトを市内小学校の給食食材として提供することを計画するとともに、生育状況の遠隔監視など最先端技術を学ぶ機会の創出に向け検討を進めてきた。

調布市としては初めて近隣校である調布市立若葉小学校に給食用としてトマトを提供し、地産地消の大切さを伝えるとともに、ローカル5G実証ハウス内の動画をタブレット等で視聴し新しい農業技術を学ぶ「デジタル化に対応した食育」の推進に取り組んだ。

■ 実施校：調布市立若葉小学校 ※順次拡大

■ 実施日：2021年11月16日より毎月実施中



● 写真提供：調布子育て応援サイト コサイト

概要
デジタル食育の

オンライン
食育イベント

食育動画

SNSを活用した
食育活動

アプリを活用した
食育活動

「デジタル食育」の
PDCAサイクル

「食育動画」制作フローチャート

動画制作は企画・構成、撮影、編集、公開の4つの段階となり、段階を後戻りしないよう進行しましょう。「企画・構成」段階で食育動画制作の目的やターゲット、テーマ等をしっかりと設定しておき、撮影～編集へと作業を進めます。

段 階	項 目	実施内容
Plan (計画)	【約2ヶ月前】 ① 企画・構成	<ul style="list-style-type: none"> ● 予算に応じた企画の作成 ● 参加団体や主催団体を決め、主導権を持つリーダー役を選定する ● 動画制作の目的、ターゲットを明確にしてテーマ、発信内容を設定 ● シナリオ制作および演出方法を企画 ● 撮影ツール、編集ツールの決定
	【約1ヶ月前】 ② 撮影	<ul style="list-style-type: none"> ● 出演者・講師等の選定・交渉・決定 ● 撮影・編集等のスタッフの役割分担 ● 事前に撮影場所の下見を行い、撮影場所や撮影日時の候補を決定 ● 撮影に必要な機材や小道具、材料、衣装などを準備 ● シナリオに従いシーンごとに撮影
	【約2週間前】 ③ 編集	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画素材や画像・イラストをソフトに取り込む ● 無言部分や余分な動画など不要なシーンをカットしていく ● 重要なシーン等にテロップや画像、イラストなどを挿入 ● 明るさなど画質の調整や音量を調整 ● BGM・効果音等の挿入
Do (実行)	④ 公開	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページやYouTube等にて公開 ● SNS等で告知
Check (評価) Act (改善)	【公開後】 ⑤ 事後フォロー	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画の再生回数や視聴時間、評価数などを検証 ● 食育動画を視聴者からの評価を検証し、次回の活動へと反映させる

概要
デジタル食育の

食育イベント
オンラインイベント

食育動画

食育活動
SNSを活用した

食育活動
アプリを活用した

「デジタル食育」の
PDCAサイクル

動画制作上の注意点

概要
デジタル食育の

オンライン
食育イベント

食育動画

SNSを活用した
食育活動

アプリを活用した
食育活動

「デジタル食育」の
PDCAサイクル

映像の手ぶれに注意

カメラを手で持って撮影すると手ぶれが発生し、見づらく落ち着かない映像となってしまう、視聴者に映像酔いを起こしてしまうため、カメラはできるだけ固定した状態で撮影を行います。

三脚を使用して撮影

三脚を使用しカメラを固定することで、なるべく安定した状態で映像を撮影します。



脇を締めて息を止めて撮影

手持ちでの撮影では、撮影者が脇を締めて撮影を行うことで映像の手ぶれを抑えます。手ぶれを補正してくれるスマホ用ジンバルなどを使用するのも効果的です。



撮影環境に注意

不要なものが映像に入らないよう撮影

背景に他人や個人情報映り込んでいないか注意しながら撮影を進めます。他人の顔が映ってしまった場合は、本人に許可を取るかモザイク加工をしなければなりません。また、背景に目立つものなど動画に不要なものが入らないように注意しましょう。



逆光にならない明るい場所で撮影

見やすい映像にするために、光の入る明るい場所で撮影しましょう。逆光になると被写体が暗くなってしまうため、被写体に直接光が当たるよう立ち位置を工夫しましょう。特に屋外での撮影では太陽の光が強いため、逆光になりやすいので注意が必要です。



編集時の注意点

動画の表紙を印象的なデザインに

動画の表紙は最初に視聴者に伝え再生してもらう役割があるため、視聴者の目を引くようなデザインを意識して制作します。



テンポ感を意識した編集を行う

カットをなるべく細かく入れ、無音の時間をなくすことで、動画にメリハリがつきテンポのよく見飽きない展開を演出できます。



映像の明るさを意識する

暗い色調の動画はネガティブでどんよりとした印象を視聴者に与えてしまうので、編集で明るく補正しましょう。



「食育動画」実証体験レポート

「食育動画を活用した食育」の実証として、今までに食育動画の制作経験のない6団体等に参加いただき食育動画を企画・制作。各団体により動画の企画・構成から撮影、編集までを行うことで、作業ステップごとにどんな課題があるのかを検証した。

■実施協力：

- ・NPO法人Earth as Mother(愛知県名古屋市)
 - ・愛知県食生活改善推進員協議会(愛知県)
 - ・一般社団法人日本フード&ヘルス協会(兵庫県姫路市)
 - ・株式会社篠島お魚の学校(愛知県知多郡)
 - ・日本野菜ソムリエ認定料理教室「Maman's Dream」(兵庫県明石市)
 - ・平野 あけみ(三重県伊勢市)
- ※オブザーバーとして映像プロデューサーの田中豪氏に協力を要請

■スケジュール：

※50音順・敬称略

- ・約1.5ヶ月前(12/22) 第1回企画ミーティング
- ・約1.5ヶ月前(12/22)～ 企画・構成を検討・作成
- ・約4週間前(1/12) 第2回企画ミーティング
- ・約4週間前(1/12)～ 撮影準備・撮影
- ・約2週間前(1/24) 第3回企画ミーティング
- ・約2週間前(1/24)～ 動画編集・音入れ・仕上げ
- ・締切(2/7) 動画完成

■使用機材：

- ・撮影：スマホ(またはタブレット端末)
- ・編集：Windows PC(またはタブレット端末)

■制作者・映像タイトル：

制作者	タイトル・作成動画URL	長さ
Earth as Mother	有機循環自然農法でおいしいお米を育て、食べよう！ https://youtu.be/uBqKyNwICIA	3分20秒
愛知県食生活改善推進員協議会	1日のスタートは朝ごはんから♪ https://youtu.be/yvdN4f3eWRs	3分46秒
日本フード&ヘルス協会	1分で簡単朝ご飯！ https://youtu.be/HnA0rzGK0rM	3分51秒
篠島お魚の学校	島の冬は海藻まみれ(制作中)	
Maman's Dream	お野菜たっぷり、笑顔もあふれる！一緒に作ろう♪揚げないコロケ https://youtu.be/guFU8UVrWfM	4分
平野 あけみ	三重の郷土料理 いばらまんじゅうを食べよう https://youtu.be/k8ZkiPzmPRc	3分55秒

企画構成 段階

- ターゲット設定を明確化
- 動画制作の目的やテーマ、発信内容を設定
- シナリオ制作および演出方法を企画
- 撮影ツール、編集ツールの決定

実施協力：

- ・NPO法人Earth as Mother
- ・愛知県食生活改善推進員協議会
- ・一般社団法人日本フード&ヘルス協会
- ・株式会社篠島お魚の学校
- ・日本野菜ソムリエ認定料理教室「Maman's Dream」
- ・平野 あけみ

※50音順・敬称略

各団体共同で動画制作の企画構成を始めるミーティングを行い、その後各団体にて企画・シナリオを考案し、お互いに発表し合って動画の制作をスタートした。

動画の企画構成

協力団体にてターゲットの設定や取組の目的の明確化を行った。動画の企画概要として、検討を行い各団体にて企画構成シートを作成した。

【動画企画構成シート】

- ①ターゲットの設定
：誰に見てもらいたいのか？
- ②情報発信内容の設定
：見た人に何を伝えたいのか？
- ③動画の演出や工夫
：②をどのように伝えるか？
- ④動画タイトル

課題・工夫した点等：

★ひとりで企画を考えると煮詰まってしまうが、**第三者と相談しながら企画を進めると考え方が整理できてよかった。**

★**子供が見る動画であれば「生きもの」を入れた方がよいというアドバイスもあり、生き物を多めに入れることとした。**

シナリオ作成

各制作団体にて、動画の長さ、撮影場所、出演者、素材探しを行ったうえで、下記の起承転結に従いシナリオを作成した。

【シナリオ構成シート】

- 『起』ストーリーが始まり
映像の意図を伝える
- 『承』ストーリーを展開させていく
- 『転』ストーリーを転換し
視聴者への印象を与える
- 『結』テーマを具体的に示し締め
くくる

課題・工夫した点等：

★動画の**時間内で伝えたいことが多く、内容を整理して絞り込むことが難しかった。**また、**起承転結のストーリーをどのように展開し、どのように映像にインパクトを持たせるか**について悩むところだった。

撮影・編集ツール等の検討

課題・工夫した点等：

★**どんな機材を使用して撮影や編集を行うかの検討を行った。今回の実証では、費用をなるべくかけず、所有している機材で制作を行った。**

使用機材

- ・撮影：スマホ(タブレット)
- ・編集：Windows PC(タブレット)



撮影 段階

- 出演者、撮影者の決定
- 事前に撮影場所の下見を行い、撮影場所や撮影日時を決定
- 撮影に必要な小道具や材料、衣装などを準備
- シナリオに従いシーンごとに撮影

実施協力：

- ・ NPO法人Earth as Mother
- ・ 愛知県食生活改善推進員協議会
- ・ 一般社団法人日本フード&ヘルス協会
- ・ 株式会社篠島お魚の学校
- ・ 日本野菜ソムリエ認定料理教室「Maman's Dream」
- ・ 平野 あけみ

※ 50音順・敬称略

各団体の設定した企画シナリオに従い事前に下見や撮影準備の上、撮影を行った。屋外の撮影では天候などにも大きく左右され撮影できないことも多かった。動画撮影の際にはカメラを固定して撮影するための三脚があると良い。

撮影場所の選定、下見等

課題・工夫した点等：

★ 田んぼでの撮影を行ったが、**屋外での撮影は自然との兼ね合いで状況が変わるため、何度も下見を行う必要があった。**特に鳥の撮影は難しく、いろいろな天候や気温、時間に下見を行い、鳥が来るタイミングを調べたうえで撮影を行った。



冬水田んぼの下見の様子



有機循環自然農法でおいしいお米を育て、食べよう！

撮影できた鴨

撮影準備

課題・工夫した点等：

★ **照明によりカメラの影が映り込まないように工夫した。**自宅にあった木の棒と段ボールとバケツを使い、スマホを固定して俯瞰で撮影できるセットを作成。



★ 今回の撮影と将来の動画作成のために、ライトボックスを2つ用意した。スマホは元々持っていた小さな三脚を利用し、箱の上に乗せて高さを調節した。

撮影

課題・工夫した点等：

★ **撮影はもっと簡単だと思っていたが思ったより時間がかかった。**料理工程も時間がかかり、右左の向きの間違いでやり直しなど。
★ 通常、冬の時期は海藻が豊富に採れるが、**今年は不漁で撮影できず、動画の構成を変更せざるを得なかった。**



★ **室内の撮影時にエアコンをつけており、その音をマイクが拾ってしまったため、電源を落として再撮影した。**また、お湯を沸かす電気ポットを使用予定だったが、この音がマイクに入ってしまったため湯沸かし機を変更した。

編集 段階

- 動画素材や画像・イラストをソフトに取り込む
- 無言部分や余分な動画など不要なシーンをカットしていく
- 重要なシーンなどにテロップや画像、イラストなどを挿入
- 明るさなど画質や音量を調整
- BGM・効果音の挿入

実施協力：

- ・ NPO法人Earth as Mother
- ・ 愛知県食生活改善推進員協議会
- ・ 一般社団法人日本フード&ヘルス協会
- ・ 株式会社篠島お魚の学校
- ・ 日本野菜ソムリエ認定料理教室「Maman's Dream」
- ・ 平野 あけみ

※ 50音順・敬称略

動画ソフトをダウンロードして撮影した動画を取り込み、編集作業を実施。全行程の中では編集作業が一番戸惑う方が多く、作業時間も想像より長かかったとの声が多かった。

ソフトのダウンロード・素材取り込み

課題・工夫した点等：

★ 動画編集の際に無料のソフトを使用すると、**完成した動画を書き出す際に企業ロゴなどが入ってしまうことがある**ため、ロゴマークの入らない無料ソフトを使用した。(今回の実証ではVideoProc Vloggerを使用)

★ フリーのイラスト集の著作権について詳細に調べたところ『**インターネットのホームページ(個人的なものも含む)では使用できません**』との記載があり、**使用できないもの**と判断した。

★ 撮影した動画データをスマホからPCに送る際にデータ容量が大きく、**オンラインストレージを使わないとファイルを転送できず**、そのやり方に苦労した。

動画編集

課題・工夫した点等：

★ **動画編集の際にカット編集した動画を移動すると、ナレーションや音があわせて移動されなかった**ため、動画と音声の位置をそれぞれに修正する必要があった。



★ **撮影した動画の中に、思いもよらぬ音が入ってしまっている**ことがあり、映像と音を切り離すのに苦労した。

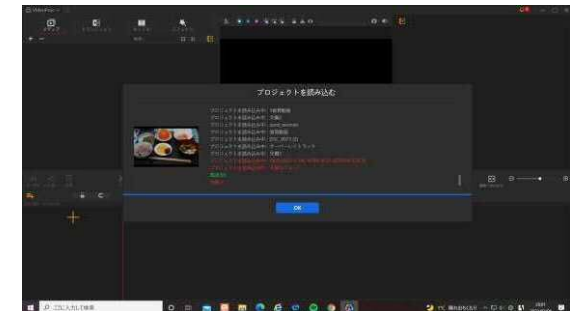
★ 静止画をたくさん撮っておくという助言があり、**多めに撮っておいた画像が編集段階で役立った**。

仕上げ段階

課題・工夫した点等：

★ イラストを作成してテロップや説明画面を作成した際、**エクセルで作成したものが動画のサイズに合わずパワーポイントで作り直す**など苦労した。

★ 動画ができ上がり、**データの書き出しをしたところエラーが生じてデータが壊れてしまい、最初から作り直す**ことになってしまった。制作途中段階のデータを保存しておくべきだった。



「食育動画」よくある失敗や制作上の留意点



よくあるトラブル

動画の良し悪しは、企画段階で決まる!

- 動画の企画をするにあたり「誰に」「何を」「どのように」伝えるかを事前に考えることが重要です。ターゲットが明確になっていないと漠然としたイメージの動画となり、見る人の心を惹きつけられません。
- 動画制作に初めて取り組む際には、『1テーマ(企画)=1コンテンツ』を念頭に、動画のテーマや企画はシンプルにしましょう。初心者があれもこれもと盛り込んだ動画は、内容が散漫になってしまい見る人の印象に残りません。
- 伝えたいテーマが多くある場合には、継続的な『シリーズ動画』を想定し、一つひとつの動画制作は無理なく、定期的に動画コンテンツをアップできる体制を整えましょう。
- SNSでの動画の再生回数は、動画のクオリティよりも企画内容の面白さに左右されます。自分たちの活動内容、特色、人間性や地域性等を生かし、『企画で人を惹きつける』動画を目指しましょう。



よくあるトラブル

見切り発車は失敗のもと!? どんな演出の動画をつくるかを想定!

- 掲載するSNS等によっても、適切な動画の長さは変わってきます。参考となるSNSアカウントやチャンネルをリサーチし、適切な長さを設定しましょう。
- 撮影の前には動画の大まかな構成や演出を決めましょう。動画を進行するのは登場人物なのか? ナレーションやテロップなのか? 必要な情報は撮影時に言葉で伝えるのか? 編集時にテロップなどで伝えるのか? などを決めておきましょう。(例) 登場人物(進行役やゲスト)の有無 / ナレーションやテロップ / BGM / 参考資料(写真やイラスト等)の有無など



よくあるトラブル

撮影前のイメージづくりが大切! 動画の設計図となる台本を作りましょう!

- 例えば料理動画の場合、オープニング / 食材紹介 / 料理 / 試食 / クロージングなど、まずは大まかな流れを企画します。その際に動画のストーリーの起承転結やメリハリを意識して、一番大切なシーンを意識して構成を考えましょう。
- それぞれのシーンで、どんな映像とどんな言葉や情報(撮影時のコメント / ナレーション / テロップ / BGMなど)が必要なのかをのれのないよう台本化しておきます。カメラを複数台使用する場合は、それぞれのカメラが何を狙うべきかも想定しておきましょう。
- 台本は、撮影・編集時に常に手元に置き、その都度見返したり、必要に応じてメモを書き足したりしていきます。

「食育動画」よくある失敗や制作上の留意点



よくあるトラブル

スマホ・カメラで動画が撮影できない、撮影時のトラブル!?

- 撮影前にスマホやカメラのデータ容量を十分に確保してから撮影に入りましょう。また、機材の使い方やバッテリーの残量なども前もって確認してから撮影に臨むように心がけましょう。
- バッテリー切れには注意しましょう。動画撮影時はバッテリーの消耗が激しくなります。もしものためにモバイルバッテリーなどを用意しておきましょう。
- 撮影開始時には必ず録画ボタンを押したことを確認しましょう。万が一、撮り逃した場合に再撮影にならないようサブのカメラで2台同時に録画しておくことも有効です。
- スマートフォンで撮影の場合は横向きにして撮影しましょう。一般的な動画は横向き表示が基本です。（InstagramストーリーやTikTokなど、用途によっては縦向き撮影が適している場合もあります。）
- せっかく撮影してもピントが合っていない映像は使えず、撮影のやり直しになってしまいます。スマートフォンの場合はピントを合わせたい位置にタッチ、デジタルカメラの場合はオートフォーカスにするなど設定をチェックしましょう。



よくあるトラブル

撮影や編集した動画データが消えてしまった!? バックアップに関するトラブル

- 撮影したデータを取り込む際はフォルダ名や日付などをしっかりと明記し、整理するように心掛けましょう。撮影や編集後の動画データを間違えて消してしまうと復旧は困難で、作業のやり直しになってしまいます。撮影や編集した動画データは必ずバックアップをしておきましょう。



よくあるトラブル

音声が入っていない、聞き取りづらい!? 音声に関するトラブル

- 撮影後に音声が入っていない、車の音、風の音等が大きく入ってしまい音声が入りづらいといったトラブルがあります。本番前に同じ場所でテスト撮影し、録画データをパソコンなどで音声が入りやすいか確認してみましょう。カメラに外付けのマイクを接続すれば、音がクリアに聞き取りやすくなります。万が一、撮影した動画の音声に問題があり撮影のやり直しができない場合は「ナレーション」や「テロップ」「BGM」等の編集で工夫しましょう。
- 撮影時にはテレビやラジオ、空調や換気扇、電化製品の音にも注意してください。音が入ってしまわないよう撮影前に電化製品の電源をオフにすることを心がけましょう。

小学生向け野菜作り動画

メリット①
「新たな日常」
の中で食育
を推進

メリット③
いつでも
食育活動を
推進できる

メリット⑥
食育情報の
リソースを
活用できる

活動主体：筑波大附属坂戸高校 ぬくい いっしゅう 貫井 一修さん(埼玉県)

<https://youtu.be/wz2nqLoFYnM>

■ 実施背景

昨年、食育活動で小学校を訪れた際、野菜が嫌いな子供が多くいたため、生産者への感謝の気持ちを育んでもらい野菜のおいしさを知ってもらおうと、卒業研究で「小学生向けに野菜作りを教える動画」を制作。

卒業研究で論文等を調べたときに食農教育の大切さを知ったが、コロナ禍で対面での食育が行えず子供の食育の機会がなくなっていることに危機感を持ち、対面ではなくてもいつでも行える動画を使った食育を行うこととした。

■ 実施概要

土や虫にさわれない子供も多く、野菜を育てる上で土づくりや虫の大切さを子供たちに教えたり農業の魅力伝えていきたいと思い、野菜作り動画に取りかかった。

地域の坂戸市立坂戸小学校では1人1台のパソコンが支給されており食育にも役立てられるため、動画を二年生と五年生の総合的な学習の時間で活用してもらった。

また、パソコンで動画を見てもらったうえで野菜の栽培をしてもらい、事後にはGoogleフォームを活用したアンケートに答えてもらい、一貫してオンラインで活動を行った。

動画の制作時には、「どうすれば子供たちにわかりやすく説明ができるか」、「会ったことのない子供たちと近い距離になれるか」などの課題があったが、映像音声だけでは伝わりづらいので字幕をつけたり、呼びかけるような話し方にしたりと映像上の工夫をこらした。

また、「トマトの茎に見える部分は実は葉っぱ」というような豆知識を織り込んだり、クイズ形式にしたりと子供たちが飽きてしまわないような演出を行った。



● 資料提供：貫井 一修

概要
デジタル食育の

オンライン
食育イベント

食育動画

食育活動
SNSを活用した

食育活動
アプリを活用した

「デジタル食育」の
PDCAサイクル

子供向け・大人向け クッキング動画

メリット②
どこからでも
食育に
取り組める

メリット③
いつでも
食育活動を
推進できる

メリット⑥
食育情報の
リソースを
活用できる

活動主体：ダノン健康栄養財団(東京都)

https://www.youtube.com/channel/UCguXJXba3j_UNEdv0R-a8Dw

■実施背景

子供たちが自分で料理を作れるようになることを目指して、クッキング動画の制作をスタートした。自分で料理を作ると食事への関心が高まり、子供の頃から食べるのが好きになる。人にとって「食」は一生を通して大切なテーマなので、いつでもどこでも気軽に食育動画を見ていただき、意識を高めてもらいたいと考えている。

■実施概要

育ち盛りの子供向けには「早寝 早起き 朝ごはん」を推進し、成長期に朝ごはんを食べてしっかり栄養を摂ることを目的とする動画を制作。

共働きなど朝食を作る時間のない保護者のためにも、短時間(5-10分)で簡単にバランスの良い朝食が作れる管理栄養士おすすめのレシピを掲載している。

大人向けには高血圧、減塩、脂質を抑えた料理など健康管理に役立つクッキング動画を制作。すべて管理栄養士が栄養価を考えて作ったヘルシーレシピを提供している。

当初は作り方と料理写真を掲載したレシピコンテンツを制作していたが、写真では調理工程などが伝わらないため、クッキング動画の制作も手掛ける事にした。

最近では「ASMR」という、人が聴覚などの刺激によって感じる心地良い反応に着目し、咀嚼音、食材をかき混ぜる音、食材を切る音等が録れるバイノーラルマイクも活用し映像に工夫を加えている。

クッキング動画は、YouTubeやホームページで公開している他、学校などでの食育授業や食育イベントの際にも活用している。

クッキング動画は今後も拡充していく予定で、中高年に向けたヘルシーなお酒のおつまみやダイエットデザートレシピなど、より実用的な企画を検討中である。



●資料提供：ダノン健康栄養財団

各章のタイトルをクリックするとその章の最初のページにジャンプします

デジタル食育の概要

オンライン食育イベント

食育動画

SNSを活用した食育活動

アプリを活用した食育活動

「デジタル食育」のPDCAサイクル

渋谷ワンダフル給食プロジェクト 動画【食育のはなし】

メリット③
いつでも
食育活動を
推進できる

メリット⑥
食育情報の
リソースを
活用できる

活動主体：渋谷区(東京都)

<https://www.youtube.com/watch?v=yebvMmjSY8M>

■ 実施背景

渋谷区では、学校給食を食への関心や理解を深め、食に感謝する心を育む「食育」の機会としている。「渋谷ワンダフル給食プロジェクト」の一環として渋谷区の子供たちに向けた「食育動画」を作成し公開している。

プロジェクトは服部栄養専門学校(東京都渋谷区)の協力のもと実施し、一層充実した学校給食を目指し、いつでも動画を見られるようYouTubeでの情報発信を行っている。

■ 実施概要

食育の第一人者である服部 幸應（服部学園 理事長・校長、医学博士）先生が出演し、食育普及のためにつくられた「食育ピクトグラム」に沿って解説を行い食育情報を発信。毎回の動画で2個のピクトグラムを紹介しながら、ピクトグラムのテーマごとに食育を推進していくためのお話を子供向けに紹介している。この動画企画「食育のはなし」は月に1回ずつ全7回の配信を予定しており、アーカイブ映像として活用できるものとしている。

動画「食育のはなし」配信テーマ

- ・ 第1回：食育のはなし
- ・ 第2回：①みんなで楽しく食べよう／②朝ごはんを食べよう
- ・ 第3回：③バランスよく食べよう／④太りすぎないやせすぎない
- ・ 第4回：⑤よくかんで食べよう／⑥手を洗おう
- ・ 第5回：⑦災害に備えよう／⑧食べ残しをなくそう（予定）
- ・ 第6回：⑨産地を応援しよう／⑩食・農の体験をしよう（予定）
- ・ 第7回：⑪和食文化を伝えよう／⑫食育を推進しよう（予定）



● 資料提供：渋谷区

概要
デジタル食育の

オンライン
食育イベント

食育動画

SNSを活用した
食育活動

アプリを活用した
食育活動

「デジタル食育」の
P.D.C.A.サイクル

食育PR動画「郷土料理ラッ婆（ラッバー）」

メリット②
どこからでも
食育に
取り組める

メリット③
いつでも
食育活動を
推進できる

メリット④
今までとは
違う層と
つながる

活動主体：大分県

<https://www.youtube.com/watch?v=BCYKtJsKsb8>

■実施背景

この動画は、平成30年度の『第13回食育推進全国大会inおおいた』をきっかけに制作された。全国大会の期間中には会場内や大分駅前などで動画の上映を行った。大分県では、これまでも郷土料理のレシピを伝えるなど、食育の啓発に力を入れており、印刷物やホームページなどの制作は行ってきたが、幅広い世代にビジュアルで訴えようと動画制作に至り、YouTubeを通じていつでもどこでも見られるよう公開している。

■実施概要

大分県食品・生活衛生課は、郷土料理の魅力を楽しく伝える食育PR動画『郷土料理ラッ婆（ラッバー）』を制作し公開した。

ラッ婆（ラッバー）とはラップに乗せて大分の郷土料理の魅力を伝えてくれる主人公のお婆ちゃん、動画では大分の郷土料理「だんご汁」と「やせうま」の作り方をラッ婆（ラッバー）一家が軽快なリズムに乗せて、楽しく踊って歌いながら教えている。

自然豊かな大分を舞台に、ラッ婆（ラッバー）一家が楽しくも壮大に食育を展開。

軽やかなラップのリズムに乗って踊るラッ婆（ラッバー）の動画には、SNSにも若者層から「かわいい」「かつこいい」といった多くの感想が寄せられた。



●資料提供：大分県

概要
デジタル食育の

オンライン
食育イベント

食育動画


SNSを活用した
食育活動

アプリを活用した
食育活動

「デジタル食育」の
PDCAサイクル

「SNSを活用した食育活動」フローチャート

SNS (Social Networking Service) を活用した食育活動のメリットは、広くアプローチできて気軽に食育について語り合えることです。スマホの普及により個人が情報を発信する時代となり、最近ではInstagramやFacebookなどのSNSでも「#食育」のハッシュタグを見かけるようになりました。

段階	項目	実施内容												
Plan (計画)	① 企画	<ul style="list-style-type: none"> ● 予算に応じたSNS企画の作成 ● SNS運用の担当者を選定する ● SNSの目的、ターゲットを明確にしてテーマ、発信内容を設定 ● ターゲットに合わせたSNSサービスを選定 ● 投稿プラン・カレンダーを計画する 												
	② 立ち上げ	<ul style="list-style-type: none"> ● SNSアカウントを作成 <p>● 選定したSNSサービスでアカウントを作成 ● 必要項目は「名前」「メールアドレス」「パスワード」 ※アカウント名は表示されるため、団体名や活動名など認識しやすいものがよい など</p> 												
Do (実行)	③ 運用	<p>SNSの運用を始めると、集客が課題になることが多いものです。改善方法としてはPV数や再生回数、いいね数などの反応を分析してPDCAサイクルを回し、次回の投稿に活かしていくことで集客を図ります。</p> <p>例えば、「ダイエットの投稿」は反応が良かったが「食塩の摂りすぎの投稿」では反応数が上がらない場合、次回は「ダイエットと食塩を絡めた投稿にしてみよう!」というように、常に数字の傾向を分析して投稿に反映していくことが大切です。</p> <p style="text-align: center;">【 参照すべき指標の一例 】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>Webサイト</td> <td>YouTube</td> <td>Instagram</td> <td>Twitter・Facebook</td> </tr> <tr> <td>↓</td> <td>↓</td> <td>↓</td> <td>↓</td> </tr> <tr> <td>PV数</td> <td>再生回数 & 高評価数</td> <td>いいね数 & 保存数</td> <td>いいね数</td> </tr> </table>	Webサイト	YouTube	Instagram	Twitter・Facebook	↓	↓	↓	↓	PV数	再生回数 & 高評価数	いいね数 & 保存数	いいね数
Webサイト	YouTube		Instagram	Twitter・Facebook										
↓	↓		↓	↓										
PV数	再生回数 & 高評価数	いいね数 & 保存数	いいね数											
Check (評価)	④ 集客	<ul style="list-style-type: none"> ● SNSへの集客 												
Act (改善)	⑤ フォロー	<ul style="list-style-type: none"> ● SNSの効果を検証し、次のステップへ ● SNSのPV数、再生回数、評価数などを検証 ● フォロワー等からの評価を検証し、今後の活動へと反映させる 												

概要
デジタル食育の

食育イベント

食育動画

SNSを活用した食育活動

アプリを活用した食育活動

デジタル食育のPDCAサイクル

SNSを使用して情報発信を行う場合には、団体や組織の情報セキュリティポリシーに従い、以下のような点に注意を払いながら運用しましょう。



注意点①

SNSを利用した情報発信には炎上のリスクがある!

団体や組織のブランドイメージを損なうような発言をしない。

匿名で気軽に発信できるSNSには、内容を批判するコメントが爆発的に集中する炎上リスクがあります。SNSは常に多くの人に見られているということに留意し、言葉遣いに気を付けたり運用担当者を決めるなどして炎上を未然に防ぎます。



注意点②

第三者からのアカウントの乗っ取りに注意!

アカウント情報を適切に管理し、二段階認証を行うことも有効。

SNSが乗っ取られると、不正なサイトの発信に利用されたり、ログインが不能になったりと大きな被害につながる可能性があります。予防策として二段階認証を設定しておけば、ログイン時に届く認証コードが必要になり、不正ログインを防ぐことができます。



注意点③

SNSを始めたら、継続的に運用する!

複数の担当者によりアイデアを出し合い投稿すると長続きしやすい。

SNSの運用を始めたのはいいけど、継続して投稿していくのはなかなか難しいものです。ひとりで悩んでいるより複数人でアイデアを出し合いながら投稿することで考え方にも幅ができ、継続運用しやすくなります。



働く人のための簡単時短レシピ：moaiskitchen

メリット②
どこからでも
食育に
取り組める

メリット③
いつでも
食育活動を
推進できる

メリット④
今までとは
違う層と
つながる

メリット⑥
食育情報の
リソースを
活用できる

活動団体等：もあいかすみさん（栄養士／料理系インフルエンサー）

<https://www.instagram.com/moaiskitchen/?hl=ja>



栄養系の大学を卒業後、食品メーカーに就職。全国チェーンのレストランや量販店など、幅広い業態のメニュー開発を手がける。その後、食品領域の広告プランナーとして勤務。忙しく働きながら自炊してきた経験と、栄養士の資格を生かして、料理家研究家として独立。Instagramで紹介している“働く女性の為の簡単時短レシピ”が大好評！キッチンブランド「moaiプロデュース」も手掛けている。

もあいさんは、Instagramのフォロワー数が50万人(2022年2月時点)を超える料理系人気インスタグラマー。もあいさんの投稿に必ず付いている#（ハッシュタグ）は、「#OL仕事めし」と「#働楽ごはん」。このコンセプトに合った料理を、フォロワーの目線に立って毎日投稿している。

働く女性でも時間をかけなくても、おいしい料理を作れることをテーマに投稿。もあいさん自身もOLをしながらInstagramで料理の紹介をしていたので、1品1品に時間をかけることができずそんな経験から編み出した手間の省き方を紹介。

加熱のコツをつかんでレンチンでおいしく料理したり、カット食材を活用して洗い物を少なくしたり、調理器具を少なくして後片付けもラクにできたりと合理的。

栄養士の資格を持っておりレシピ本も出版している人気の料理家による、キレイな写真とわかりやすい文章の投稿によりフォロワーも急増中。



●資料提供：もあいかすみ

「吉田うどん」の魅力を拡散：山梨県立ひばりが丘高校うどん部

活動団体等：ひばりが丘高校 うどん部

https://twitter.com/yosida_udon

山梨県立ひばりが丘高校うどん部は、郷土料理「吉田のうどん」を通し、特徴ある地元食文化の魅力を全国に伝えるべく「県内外のイベント出店」「新メニューの開発」「うどん店を紹介したフリーペーパーの発行」「直営のうどん店の開業」など、県内外の幅広い世代に対し情報発信・食文化伝承を行っている。

ひばりが丘高校うどん部は、日曜日限定で店を営業しており、コロナ渦で休業することもあるが、TwitterやGoogleマイビジネスを活用し、集客効果を上げている。

Twitterは生徒の活動が伝わりやすいように、生徒のアップ画像を掲載するようにするとともに、みんなに関心を持ってもらえるように更新頻度を高くすることを心がけている。

メリット②
どこからでも
食育に
取り組める

メリット③
いつでも
食育活動が
推進できる

メリット⑤
楽しみながら
食育を
推進できる



手作りの農家の暮らしを発信：季の野の台所

活動団体等：季の野の台所（体験型農家）

<https://www.facebook.com/kinononodaidokoro/>

愛知県美浜町で動物たちと暮らしながら体験型農業を営む『季の野の台所』では、フェイスブックなどのSNSを活用して情報発信を行っている。

また、フェイスブック内では、「手作り醤油の活動」をサポートするため、「手作り醤油を仕込もう、絞ろうの会」（プライベートグループ）を立ち上げ、参加者からの途中の相談事や様子を投稿し合うことで、醤油を育てることへの励みと安心、ワクワク感を共有している。

メリット②
どこからでも
食育に
取り組める

メリット③
いつでも
食育活動を
推進できる

メリット④
今までは
違う層と
つながる



概要 デジタル食育の
食育イベント
食育動画
SNSを活用した
食育活動
アプリを活用した
食育活動
「デジタル食育」の
P.D.C.A.サイクル

スマートフォンのアプリで「食育」の知識を身に着けたり、健康管理を実践できます。これらのアプリを活用することで、理想的な食事バランスの食生活を目指したり、家庭や学校で食に関する知識を豊かにしたり、健康的な食事をとる力を身につけることができます。

健康的な食事をとることに役立つ 食事管理アプリ

毎日の食事を記録すると栄養バランスを考えたレシピを提案したり、カロリー計算をしてくれるアプリです。また、運動や歩数などの生活習慣を記録して、健康管理を推進するアプリもあります。

[例えばこんな機能も・・・]

- 食べたものを写真撮影して登録するとAIからアドバイスが届く
- 運動量や歩数の管理ができ、ダイエット等にも活用できる
- コンビニの食品からカロリー計算やメニュー提案をしてくれる

ポイント
生活習慣病の
予防を実現



ポイント
不足気味の栄養素や摂りすぎの
栄養素がわかり健康増進



食に関する知識を豊かにする デジタル教材アプリ

学校での授業や家庭で活用できる、遊び感覚で楽しく使える食育教材アプリです。子供とコミュニケーションを図りながら、食に関する正しい知識を身につけることができます。

[例えばこんな機能も・・・]

- 小学校向けの教材を無償提供し、学校現場での授業に活用
- アニメーションなどで楽しみながら食に関する知識が身につく
- 適切な栄養バランスを補完するメニューを提案

ポイント
食育をテーマにした
授業に活用



ポイント
家庭で食育
コミュニケーション



「アプリを活用した食育活動」事例

望ましい食生活を実践するために、料理を選び栄養バランスを考慮することができるアプリケーションが近年開発され、リリースされています。こういった食育アプリを役立て食育活動を推進しましょう。

「あすけん」

メリット②
どこからでも
食育に
取り組める

メリット③
いつでも
食育活動を
推進できる

メリット⑤
楽しみながら
食育を
推進できる

■概要

食事記録をすることで、バランスの良い食事を自ら選ぶ力を育むことを目的に生まれた食生活改善アプリ。食事ごとに何をどれくらい食べたかを記録すると、自動でカロリーや栄養価計算がされ、過不足がグラフで表示される。記録内容に対して管理栄養士が監修した自動アドバイスも届くので、次の食事の改善に活かせる。食べた料理や食材は、アプリ内にある10万件以上の豊富なメニューデータから選択できるほか、スマートフォンで撮影した食事の写真や市販食品のバーコードからも登録可能で、簡単に食事記録が続けられる工夫がされている。

- ・無料で利用可能。（一部有料のプレミアムサービス機能は月払480円、半年払1900円、年払3600円。）
- ・団体利用のサービスメニューあり。（管理画面の利用等）
- ・iOS、Android対応。PC用のWebページもあり。
- ・利用にはメールアドレスの登録が必要。
- ・減量・増量・現状維持など個人の目標に合わせてコース設定が可能。
- ・目標に合わせたエネルギー摂取量・消費量や各種栄養素等の適正値の算出のため、年齢・性別・身長・現体重の入力が必要。

*「革新的な優れたサービス」への内閣総理大臣表彰制度である第3回日本サービス大賞「優秀賞」受賞



(左)AI栄養士キャラクターが優しく寄り添うアドバイスをくれる。(右)グラフで食べたものの栄養素が可視化される。



市販食品のバーコードを読み取ると、メニューデータの中から該当する食品が表示される。該当メニューがない時は追加リクエストも可能。

デジタル教材「食育の時間+」

プラス

メリット⑤
楽しみながら
食育を
推進できる

メリット⑥
食育情報の
リソースを
活用できる

■概要

オンラインで誰でも無料で利用できるマクドナルドのデジタル教材「食育の時間+ (プラス)」。食に関する正しい知識を7つのテーマで楽しく学べ、制作はNHKエデュケーショナルが手掛けている。テーマごとに物語性のあるアニメーションや解説動画がパッケージ化されているため、効果的な授業・指導が手軽に実施できる。アニメや動画、アプリは単体でも活用できるよう工夫されており、指導案もダウンロードできる。小学校高学年対象ですが、低学年や中学生に向けた指導でも活用されている。

●教材はこちら→[「食育の時間+」サイト](#)



- ・推奨：パソコン・タブレット（スマートフォンでも閲覧可能）
- ・教育関係者向けに指導案冊子を無償提供（オフラインでも使える教材収録DVD付き/[要申込](#)）
- ・教材の紹介動画は[こちら](#)



本教材で学べる「7つのテーマ」と「指導案」のイメージ
※指導案はテーマごとにそろそろ。指導のながれや管理栄養士といった専門家の意見なども掲載され、食育の実践に役立つ内容となっている。

「デジタル食育」のPDCAサイクル

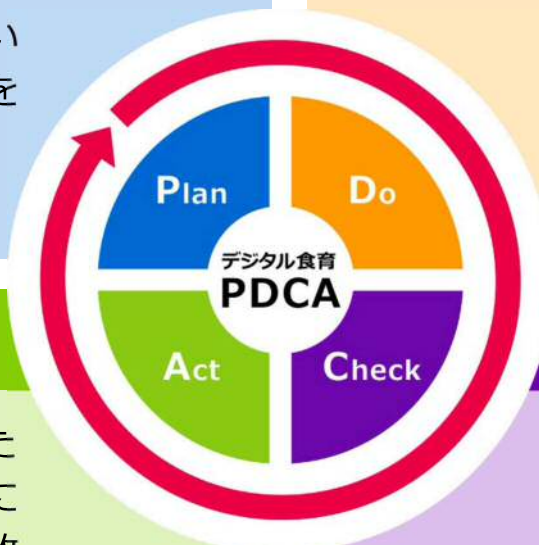
「デジタル食育」のPDCAサイクルとは、「Plan（計画）」→「Do（実行）」→「Check（評価）」→「Act（改善）」のサイクルを実行することです。「デジタル食育」のプロジェクトごとにスピーディに実施内容を「評価」し、次のプロジェクトの「改善」につなげることが大切です。

Plan（計画）

「デジタル食育」を企画する前に他の事例や世間のトレンド等を調査します。リアルタイムの気づきを得たうえで、いつまでにどのような「デジタル食育」を実行するかを具体的に企画します。

Act（改善）

「Check（評価）」段階で明確になった「デジタル食育」の課題や問題点もとに次回以降の「デジタル食育」に向けた改善策を考案します。



Do（実行）

「Plan（計画）」で立てた目標をもとに「デジタル食育」を実施します。ここでのポイントは食育活動を行動に移せるようにタスク化していくことです。

Check（評価）

「デジタル食育」を実施した結果、「Plan（計画）」で設定した目標がどの程度達成されたのか評価します。参加者アンケートを行うなどして、今後の効果的な「デジタル食育」活動の参考とします。

まず「デジタル食育」の計画を明確にし、実行後に活動の評価や改善ができるようプロジェクトごとに管理しましょう。次回以降の食育活動にフォローアップできるように、常にPDCAを意識して「デジタル食育」を進めましょう。

「デジタル食育」PDCAチェックシート

プロジェクト名	オンライン農業体験の実施		担当者名	中村
Plan (計画)	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善)	
<p>■ 目的</p> <p>オンライン農業体験を実施することで子供たちに農業の大切さ、野菜のおいしさを感じてもらおう。</p> <p>「デジタル食育」のプロジェクトを実施する目的を記入します。</p> <p>■ 「デジタル食育」の企画内容</p> <p>「〇〇ファームでオンライントマト狩り！」 オンラインで画面共有しながら農園を紹介し、房付きのトマト狩りを行いトマトのおいしさを味わってもらおう。</p> <p>他の事例や世間のトレンドを参考にしながら、「デジタル食育」の企画を立案します。</p>	<p>■ 取組内容</p> <p>農園から事前にトマトを発送しておき、オンラインでトマト狩りを行った後に、参加者全員でトマトを味わう体験型イベント。</p> <p>プロジェクトの取組内容を具体的に記入します。</p> <p>■ 実行アウトプット (実施回数等)</p> <p>年初にテストとして1回実施。その後、本年度中に5回実施。</p> <p>オンラインイベントや食育動画、SNS発信などの実施回数などを記入します。</p>	<p>■ 検証結果</p> <p>参加者アンケートからは「家においてトマト狩りができ楽しかった」「手間をかけてトマトをつくっていて、大切に食べたいと思った」という声あり。 家族からの反応として、今後も取り組んでほしいとの要望が多くあったが、一部、通信環境の改善が必要な部分があった。</p> <p>本年度は、5回の開催を達成した。</p> <p>「参加者アンケート」や「関係者への事後レビュー」などを行い、計画の達成状況等を具体的に記載します</p>	<p>■ 検証結果を受けた改善内容</p> <p>改善点① 次回以降は、通信環境を改善し、通信速度が速く安定した回線を用意して開催する。</p> <p>改善点② 次年度はオンライン農業体験と料理教室の2部構成で開催。</p> <p>改善点③ 来年度は10回開催を目標とする。</p> <p>検証結果を受けて今後の改善点や次回の食育活動の方針等を決めて記入します。</p>	

「デジタル食育」実証ダイジェスト映像

本デジタル食育ガイドブック制作にあたり、「オンライン会議システム等を活用した食育活動」および「オンライン動画を活用した食育活動」の実証を行い、デジタル食育活動の課題や改善点の検証を行いました。その様子をまとめたダイジェスト動画を下記に掲載していますのでご参照ください。いずれも、企画・準備が重要ですので、企画段階の打合せの様子を中心に動画にまとめています。

「オンライン会議システム等を活用した食育活動」実証ダイジェスト(動画 約10分)

<https://www.youtube.com/watch?v=PjeOgjPjS-8>



「食育動画を活用した食育活動」実証ダイジェスト(動画 約11分)

<https://www.youtube.com/watch?v=r4DU9PXUKY4>



このデジタル食育ガイドブックは、農林水産省 令和3年度食育活動の全国展開委託事業（デジタルを活用した食育の推進）の一環として、以下の検討委員により構成されるデジタル食育検討委員会を開催の上、編集しました。

デジタル食育検討委員会 検討委員

(座長)

赤松 利恵 お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系 教授

(委員)

滝村 雅晴 株式会社ビストロパパ 代表取締役／パパ料理研究家

筒井 洋一 筒井ラーニングLab合同会社 代表／前京都精華大学 人文学部 教授

藤本 奈巳 公益財団法人ダノン健康栄養財団 専務理事

もあい かすみ 栄養士／料理系インフルエンサー

吉田 恭寛 吉田牧場 代表

※敬称略・50音順

制作：CUE株式会社

古播・三葉|ETI|+一+&.7.+.+11.+. / . / 株式会社